

第六十九回帝國議會衆議院

重要肥料業統制法案委員會議錄(速記)第二回

付託議案
重要肥料業統制法案(政府提出)

昭和十一年五月十四日(木曜日)午前九時二十七分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 西村丹治郎君

理事矢野庄太郎君 理事北原阿智之助君

理事河野 一郎君

村上 國吉君 日比野民平君

中野 邦一君 岡本實太郎君

寺田 市正君 助川啓四郎君

岩瀬 亮君 服部 岩吉君

鶴 物市君 加藤 賢司君

平野 力三君 守屋 榮夫君

佐竹 晴記君

同月十三日委員石坂繁君辭任ニ付其ノ補闕

トシテ野中徹也君ヲ議長ニ於テ選定セリ

同月十四日村上國吉君理事辭任ニ付其ノ補

闕トシテ北原阿智之助君理事ニ當選セリ

出席國務大臣左ノ如シ

商工大臣 小川鄉太郎君

農林政務次官 田邊 七六君

出席政府委員左ノ如シ

農林省農務局長 戸田 保忠君

會議

商工政務次官 池田 秀雄君

商工書記官 小金 義照君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

重要肥料業統制法案(政府提出)

○西村委員長 ソレデハ是ヨリ會議ヲ始メ

マス、一寸御諸リスルコトアリマスガ、

村上國吉君ガ理事ヲ辭任セラレマシタノ

デ、其補闕ヲ致サネバナリマセヌ、是ハ委

員長デ指名シテ御異議ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○西村委員長 ソレデハ北原君ヲ理事ニ指

名シマス、議事ノ順序ハ先以テ當局者ノ方

カラ提案ノ説明ヲ願ツラドウデゴザイマ

スカ

○西村委員長 ソレデハ北原君ヲ理事ニ指

名シマス、議事ノ順序ハ先以テ當局者ノ方

カラ提案ノ説明ヲ願ツラドウデゴザイマ

スカ

○小川國務大臣 重要肥料業統制法案提出

ノ理由ハ大體本會議ニ於テ申述べタ通リデ

アリマスガ、尙ホ今少シク詳細御説明申上

ゲマス

近時、我國ニ於ケル販賣肥料ノ施用ハ逐

年增加致シマシテ、内地ノミニ於テ、其消

費額ハ二億圓餘ノ巨額ニ達スル狀態デアリ

マスルガ、右ノ中、硫安石灰等素及ビ過磷酸石灰等ノ化學肥料ハ四割餘ヲ占メ、其ノ

ミナラズ、其市價ノ高低ハ全販賣肥料ノ市

價ヲモ左右スル地位ニ在ルノデアリマス、

ル地位ヲ占メテ居リマスルノミナラズ、之

ガ供給ノ源ヲ爲ス化學工業ハ、肥料トシテ重要ナ

進歩シタ理論ヲ應用シタモノデ、其發達

如何ハ、直ニ化學工業全般ノ發達ニ重大ナ

影響ヲ齎スモノデアリマシテ、且又軍需工

業トシテ國防上ニモ重大ナ意義ヲ有スル工

業デアリマス、而シテ、化學肥料界ノ現狀

ヲ觀マスルニ、其中最モ重要ナル硫安ニ於

キマシテハ、國內生産ハ未ダ消費ヲ充スニ

至ラズ、年々相當數量ノ不足分ハ、之ヲ外

國硫安ノ輸入ニ依テ充サネバナラヌ狀態デ

アリマシテ、其市價ノ如キモ、兎角、騰貴

シ勝デアルコトハ既ニ各位御承知ノ通リデ

アリマス、石灰等素ニ付キマシテハ、未ダ

其消費額少ク供給モ略、之ニ伴テ居リマス

ガ、肥料トシテモ、今後益々其施用ヲ增加

セシムベキモノデアリマスト共ニ、其工

業資源カラ見マシテモ、今後十分國內ニ發

達ノ見込アルモノデアリマス、又過磷酸石

灰ニ付キマシテハ、我國ニ於ケル生产能力

ハ著シク過剩デアリマシテ、現ニ生產制限

ヲ行ッテ居ルノデアリマスガ、其統制ハ動モ

スレバ亂レ勝デ、業界ハ安定ヲ得タリト謂

フヲ得ナイ狀態デアリマス、硫安、石灰等

素及ビ過磷酸石灰ニ付キマシテハ、當業者

ハ、各種々ノ形ニ於テ統制協定ヲ實施シテ

居ルノデアリマスガ、其內容、方法等ハ、必

シモ常ニ公正ヲ得タリトハ爲シ難イ實情ニ

在ルノデアリマス

以上ノ實情ニ鑑ミマシテ、本法ハ、是等

ノ化學肥料工業ニ對シマシテ、其發達不十

分ナルモノニ付テハ、進ンデ事業ヲ新設擴

張ヲ促シ、業界ノ安定ヲ得ザルモノニハ、適

當ナル規律ヲ得シメマシテ、合理的ナル改

善發達ヲ期スル同時ニ、農業經營ノ改善

發達ニ資スル爲ニ、國家的見地ヨリ必要ナ

ル統制ヲ行ヒ、是等肥料ノ需給ノ圓滑ト、

價格ノ公正ヲ圖ルコトヲ目的トシテ立案セ

ラレタモノデアリマス、案ノ内容ヲ簡單ニ御説明申上ゲマスレバ、差當リ、本法ノ適用ヲ受クル肥料ノ種類ハ、硫安、石灰窒素及ビ過磷酸石灰ノ三種類ト致シ、是等三種造業組合ヲ組織セシメ、業者ハ法律上當然其組合ノ組合員タラシムルコト致シマシテ、此ノ組合ヲシテ、先づ自治的ニ生産及ビ販賣ニ關スル統制事業ヲ行ハシメ、政府ハ之ニ對シテ嚴重ナル監督ヲ行フ仕組ト致シ又ハ販賣ニ關スル決定ヲ爲シタルトキハ、政府ニ届出デシメテ其承認ヲ受ケシメ、政府ハ其決定ヲ不適當ト認ムルトキハ、之ガ變更又ハ取消ヲ爲シ、其決定ニ從ハザル組合員ニ對シマシテハ、組合ノ決定ニ從フベキコトヲ命ジ、又組合ニ於テ右ノ決定ヲ爲サザルトキハ、其決定ヲ爲スベキコトヲ命ジ得ルコトト致シマシタ、而シテ本法施行後ニ於テハ、政府ノ許可ナクシテハ、生產販賣等ニ關スル當業者ノ任意ノ統制協定ヲ認メナイコトシ、又需給調節上ノ必要ニ應ジテハ、政府ハ輸出入ノ制限ヲ行ヒ得ルノ途ヲ拓クコト致シマシタ、尙ホ本法施行ニ關スル重要事項ニ付キマシテハ、政府ノ諸問ニ應ゼシムル爲メ、内閣ニ重要肥

料業委員會ヲ設置シマシテ、朝野ノ學識經驗アル人々等ヲ委員トシテ、公正ナル輿論ニ聽キ、本法ノ運用上遺憾ナキヲ期スルコトト致シマシタ、以上案ノ大體ヲ申上ゲマナル發達ヲ促シ、豊富且ツ低廉ナル肥料ヲ農家ニ供給スルヤウニ致シタイト云フ趣旨ニ外ナラヌノデアリマス、何卒十分御審議ノ上御贊成アランコトヲ希望致シマス

○西村委員長 ソレデハ質問ノ通告ガアリマスカラ、通告順ニ依フテ質問ヲ許スコトニ致シマス——佐竹君

○佐竹委員 過日本會議ニ於キマシテ硫安ノ生産費ニ付テ御尋ヲ申上ゲマシタガ、ソレニ對スル御調查方出來テ居リマセヌノカ、御回答ヲ得ルコトガ出來ナカッタノデアリマス、今私共ノ調査スル所ニ依レバ、昭和肥料ノ硫安生産費方電力料適當十八圓、硫安礦廻當リ九圓、人件費八圓、營業費十圓、四十五圓六十錢デ以テ生産サレルト云フコトニナッテ居リマス、次ニ三池

○小川國務大臣 肥料ノ生産費ニ關シマシテハ商工省ニ於テハ公表ヲシタコトハゴザイマセヌガ、ソレニ付テ色々本會議ナリ、外ノ委員會ニ於テモ質問ガアリマシタ、今御示シノ生産費ト云フモノガ果シテサウデアルカドウカ、是ハ私デハ判断ガ付キマセヌガ、必要ガアリマスレバ、政府委員カラ

ナガラ此法案ガ軍需的戰時編成ニ關聯スルコトナキヤ否ヤト云フ點デアリマス、此點料要求ト云フコトデアリマシタガ、商工省ト致シマシテハ法律ノ何ガアリマセヌト各社ニ對シテ生産費ヲ正確ニ調ベルト云フ譯ニモ參リマセヌカラ、一寸只今ノ御要求ニハ直チニ應ジ得ラレナイカト思ヒマス、次ニ肥料業ガ軍需工業トノ關係ニ於テ、軍需的戰時編成ニ關係ガアルカト云フ御尋デアリマスガ、戰時編成ト云フ御趣旨ハドウ云フコトデアリマスカ能ク分リマセヌガ、畢竟スルニ肥料ノ中ニハ窒素工業トモ目セラレルモノガアリマス、サウ云フモノハ爆發藥トカ何トカ云フヤウナモノヲ持ヘルノニ非常ニ關係ノ深イモノデアリマスカラ、所謂戰時ニ臨シデハ工業動員ト云フヤウナ趣旨デ專ラ其方面ノ軍需品ノ製造ニ力ヲ致スト云フヤウナコトモ參ッテ來ルダラウト思ヒマス

○佐竹委員 今硫安價額ノ調査ニ付テノ發表ハ困難ノヤウニ承リマシタガ、曩ニ第六十七議會ニ臨ムニ際シテ、政府當局ニ於カレマシテハ五ツノ會社ニ付テ詳細御取調ガアッテ居ルト承知致シテ居リマス、御調査ヲ得

ヨリ御答ガ困難デゴザイマシタナラバ、然ルベキ政府委員ヲ以テ御答ヲ願ヒタイト思フ、次ニ只今大臣ニ御尋ネ致シマシタ軍需的戰時編成ト云フ此言葉ハ、言葉ノ用ヒ方ガ惡イカモ分リマセヌガ、要スルニ一朝事有ル時ニ此本法ニ依ル統制ガ何等カノ役割ヲ勤ムルノデハナイカ、又勤ムベク茲ニ準備ヲ爲サル所ノ意味合ガアルノデヤナナイカト云フノデアリマス、若シ然リト致シマスナラバ、將來此統制ハ寧ロ一步進ンデ國營ニマデ押進メテ行クコトガ賢明ナ策デハナイカト思ハレルノデアリマス、當局ノ御所見ハ如何デゴザイマセウカ承リタイ

付キマシテ吾々ハ眞偽ノ程ハ全然分リマセ
ヌノデス、爾來色々調べル必要ヲ感ジテ居リ
マシタノデスケレドモ、何等ノ法律上ノ根
據モナク、又此處デ申上ゲルヤウナ程度ノ
調査モ行届イテ居リマセヌノデ大臣カラ只
今ノヤウナ答辯ガアツタ次第ト心得マス
ソレカラ窒素工業デアル所ノ硫安其他ノ
工業ニ付キマシテ、軍需工業トシテドウ云
フ役割ヲ有ッカ、斯ウ云フ御質問ニ對シテ一
應大臣カラ御答サレタノデアリマスガ、更
ニ之ヲ少シ技術的ニ申上、ゲマスト、是ハ硫
安ダケニ付テ申シマシテモ、戰時中ハ相當
多數直接軍需品ノ方ニ廻ハサレル、ソレガ
約半分位デアルカドウカハ分リマセヌデス
ガ、相當多額ノモノガソチラニ廻ハサレル、
隨テ軍需工業トシテ、又窒素工業ハ非常ニ
重要ナ役目ヲ持ツ、斯様ニ心得テ居リマス、
此戰時資源ニ付キマシテハ、資源局其他ノ
關係官廳ニ於キマシテ今色々攻究シテ居リ
マス

シテモ價格ノ公正ヲ期スルト云フコトガ
大眼目デゴザイマス、故ニ本法ヲ施行スル
ニ當リマシテハ、硫安ノ價格ガドノ程度ノ
モノデアッテ、ドノ程度ノモノガ又正當ナ價
格デアルカト云フガ如キハ、前以テ十分御調
査ガアルベキデアルト同時ニ、當局トシテ
十分ノコ、ニハ研究ガ足リテ居ナクチヤナ
ラナカツタト私共ハ思フノデアリマス、之ヲ
何カ發表スルコトガ困難ナ他ニ事情デモア
ルノデゴザイマセウカ、若シ此硫安價格ト
云フモノヲ政府トシテハ此程度ノモノガ相
當ノモノアルト云フコトヲ發表スルコト
ニ依ッテ、何カ弊害デモ流スト云フコトデア
リマスナラバ、是ハ強ヒテ聽カウトハ致シマ
セヌ、若シ其弊アリト云フナラバ其理由ヲ
御示シ願ヒタイ、若シサウデナイト致シマ
スナラバ此際政府トシテ此法案ヲ今茲ニ上
程ヲ致シマシテ、サウシテ價格ノ公正ヲ期
サウト乘氣ニナッテ居ラレマス精神ニ徵シ
マシテモ、十分ノ御調査御研究ガアッテ、サ
ウシテ從來ノ關係ニ於テドウモ硫安ハ高
イ、或ハ外國品ハドウ云フ關係ニナッテ居ラ
カ、農村ハドウナッテ行クカト云フ見透エ
ト云フモノガ立テラレテ居ラナケレバナラ

スト同時ニ、監督官廳ト致シマシテハ若シ
スウナツタナラバ、又ア、ナレバ斯ウモショ
ウト云フコトヲ十分豫想サレ研究サレテ
居ナクチヤナラナカッタト私ハ思フ、多分御
研究ガアルモノト考ヘラレマスガ、御差支
ガナクバ茲ニ政府當局トシテドレダケノモ
ノガ正當デアルカ、御見解ヲ承リタイト思
フアデアリマス

或ハ需要供給ノ關係ヲ能ク見マシテ、他方ニハ農家ノ事情、詰リ消費ノ事情ヲ能ク考

ヘマシテ、其時ニ於テ餘り當ヲ得テ居ナイト云フ場合ニ國家ガ發動スルコトニナルノ

デアリマス、疏安ハ何圓カ、百圓デナクテハナラヌトカ、八十圓デナクテハナラヌ、

サウ云フ價格ヲ公定スルト云フ趣旨デハナイノデアリマス、若シサウ云フ御趣旨デ只

今ノ御質問ガアリマスレバ、サウデナイト御答ヲスルヨリ外ナイノデアリマス

○佐竹委員 甚ダ不満足デアリマスガ、時間モ經ツテ居リマスカラ……價格ノ點ニ付

テモ大凡其見當ト云フモノハアルベキダト思フノデアリマス、此點ハ何ダカ暖簾ト相

撲ヲ取ルカノ如キ氣持ガ致シマス、甚ダ不

満足ニ感ジマスガ、今少シク茲ニ大凡其見當ト云フモノヲ政府ニ於テ發表出來ヌノデ

ゴザイマスカ、今一度御答頗ヒタイト思フ

ノデアリマス、最後ニ一點肥料ノ検査ノ結果ニ依リマシテ、各検査場ニ於ケル検査ノ結果ハ、非常ニ不良成分ガ多ク出テ居リマスノデ、無智ナ農民ノ迷惑ハ甚ダ大デゴザイマス、之ニ對シマシテ當局ガ置カレテ

リマス肥料検査官ハ、地方ニ技師二名、技手八十五名ト云フ少數デゴザイマス、多イ

府縣デモ三名、或ハ僅ニ技手一名ト云フノ整備ヲ期シタイト云フコトヲ考ヘテ居ル次

ガ寧ロ普通ト云フ程度デアリマス、是デハ

中々不正肥料ノ防止ト云フコトハ出來ルモノデハナイノデゴザイマス、本法提案ノ趣

旨ニ照シマシテモ、斯ノ如キ不良成分ヲ多分ニ含マル、所ノ肥料ヲ驅逐センケレバナ

ニ對シマシテ、現在ノヤウナ狀態ニ於キマシテハ、斷ジテ將來不正肥料、不良成分ヲ

驅逐スルト云フコトハ困難デアルト私ハ考

ヘマスガ、今少シク之ニ對シマシテ或ハ技師ヲ殖ヤスナリ、技手ヲ殖ヤスナリ、其他

何等カ適切ナル方法ヲ以テ、此憂ヲ除クニ足ルダケノ施設ヲナサイマス御用意ハナイ

モノデゴザイマセウカ、最後ニ此點ヲ御尋シテ置キマス

○戸田政府委員 今御尋ノ點ハ農林省關係ノ肥料取締法ノ施行ニ關スル事項デアリマ

カラ、便宜私カラ御答致シマスガ、肥料取締法ノ施行ニ付キマシテ、御話ノヤウニ地

方ニ於キマスル肥料検査官ノ充實整備ヲ期シタイト云フコトハ吾々モ念願シテ居ル所

デアリマスガ、財政上ノ各般ノ事項トノ權衡其他カラ、マダ實現ニ至ラナイノハ遺憾

トスル所デアリマス、當局トシマシテハ出

來ルダケ其充實ヲ期シテ、肥料検査事業ノ

整備ヲ期シタイト云フコトヲ考ヘテ居ル次

第デアリマス

○西村委員長 佐竹君モウアナタノ御質問ハ濟ングノデスカ

○佐竹委員長 ソレデハ河野君

○河野委員 質問ニ入ル前ニ材料ノ要求ヲ致シテ置キマス、勿論會期モ少ナインノデゴ

シテカラ新シイノデアリマスカラ、出來テ後ノ御提出ヲ願ヒタイト思ヒマス、

ノヲ年度別デ戴キタ一、其數量ト其製品ノ

テカラ新シイノデアリマスカラ、出來テ後

中カラ全購聯ガドノ位買ツテ居ルカ、其全購

聯トノ賣買ノ數量デアリマス、竝ニ越當リノ價格ヲ願ヒタイノデアリマス、第二ニハ

最近五箇年間ノ外安ノ輸入數量ト其價格、第三番ニハ最近五箇年間ノ各製造會社ノ硫

安ノ生産豫定數量、生産ヲドノ位豫定スル

積リデ居タカト云フ豫定數量ヲ政府ハ年

年本議會ニ御示シニナッテ居リマスガ、ソレ

ヲ纏メテ其豫定數量ト並ニ實際ノ實績ハド

ノ位製造シタカト云フ、過去ニ於ケル政府

ノ見込達ヒヲツ此處ニ御發表ヲ願ヒタイ

ガ本院ニ提出セラレマシタ豫メ豫想ヲ立テ

タモノ——需給豫想ヲ年々政府ハ示シテ、斯フ云フコトニナツテ居ルカラ少クトモ心配ハナイ、大體ノ對策ハ立テ居ルト云フコトヲ言ハレマスガ、其見込達ハドノ位ニ

ナツカ、政府ノ見込達ガドノ位ニナツカト云フコトヲ御示シヲ願ヒタイ、其材料ヲ戴

クコトニ致シマシテ、先づ材料ニ關係ノナ

イモノノ質問ヲ致シテ見タイト思ヒマス、

私ノ質問ハ主トシテ商工省ニ御尋シタイノ

デアリマスガ、幸ヒ商工大臣御見エデアリ

マスカラ、商工大臣カラ御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス

最初ニ御尋致シテ見タイコトハ、小川商工大臣ハ御就任後マダ日ガ淺イノデアリマ

シテ、從來ノ商工省ノ肥料ニ對スル態度ハ吾

吾甚ダ不滿ニ思ツテ居リマスガ、一々其不滿ニ付テ商工大臣ニ不御尋致スコトモドウカ

ト思ヒマス、之モサウ云フ意味合デ、決シテ現小川商工大臣ニ其責任ガアルトカ、其態

度ガドウトカ云フ意味デナシニ當局トセラ

レマシテ、從來ノ態度ニ付テ一ツ率直ニ御答辯願ヒタイノデアリマス、本案ノ提出ニ

當ツテ只今ノ御説明ヲ承リマスト、非常ニ

此案ニ依ツテ將來我國ノ肥料業ガ安定致シマシテ、其結果農村ニ對シテモ好影響ガ齎

ラサレルヤウナ御説明デアリマスルガ、案
ノ内容ソレ自體ハ要スルニ運用ノ結果如何
ニ依フテ、御示シノヤウナ結果ヲ農民ガ受ケ
ルコトガ出來ルカモ知レマセヌガ、其運用
來スコトガアルノデハナイカト云フ懸念ガ
スルノデアリマス、即チサウ云フ所以ノモ
ノハ、嘗テ民政黨内閣當時ニ於キマシテ硫
安ノ輸出入ノ許可制度ヲ御出シニナッタコ
トガアル、其許可制度モ當初ニ於テハ硫安
ノ價格引上ノ目的ヲ以テ許可制度ヲ御出シ
ニナッタ、所ガ御出シニナッタ當時ニ於テハ
決シテ吾々不當デアッタハ申シマセヌ、非
常ニ硫安ガ下ッテ居ツタ、本日茲ニ委員長ヲ
勤メテ居ラレマスル西村先輩ノ如キモ、當
時農林省ノ政務次官ヲシテ居ラレマシテ、
此許可制度ノ運用ニ付テハ非常ニ御困リニ
ナッテ居ツタト云フコトヲ、吾々ハ當時新聞
記者ヲシテ居ツテ十分承知致シテ居リマス、
所ガ此許可制度ニ禍セラレマシテ、農林省
ト商工省ノ間ニ常ニ意見ノ不一致ヲ來シマ
シテ、時ニハ兩省ノ間ニ内地ニ於ケル需給
ノ推算ガ一致シナイ、需給推算上ニ於ケル
意見ノ一致ヲ缺キマシタ爲ニ、農林省ガ外
ニ不同意ヲ唱ヘテ、爲ニ内地ノ肥料ガ益、

暴騰スル、現ニ今日ハ多少下ッテ參リマシタ
ガ、昨年末ノ如キ非常ナ硫安ノ暴騰ヲ來シ
テ居ツテモ、何等之ニ對シテ兩省ハ執ルベキ
手段モナク、去年デモ一昨年デモ本議場ニ
於テ時ノ商工大臣カラ御説明ニナッタコト
トハ全ク違ッテ、單リ當業者ニ暴利ヲ食ラシ
メルダケデアッテ、本法運用ニ當ツテモ、果
シテ農林商工兩省ノ間ニ於テ完全ナル一致
ヲ見テ進ムコトガ出來ルカドウカ、商工省
ノ事務當局ハイザ知ラズ、商工大臣ガ果シ
テ此事務當局ノ態度ヲ抑ヘテ、公正ナル運
用ヲ期スルコトガ出來ルカドウカト云フコ
トニ、問題ハ懸ツテ來ルダラウト思フノデ
アリマス、現ニ此肥料ニ關スル委員會ノ如
キモ内閣ニ其委員會ヲ置クト云フコトデ、
内閣デ之ニ對シテ調和ヲ取ツテ行クヤウナ
風ニ吾々ハ諒承スルノデアリマスガ、出發
ノ初メカラサウ云フ風デ、脇カラ軍配ヲ上
ゲテ貰ハナケレバ旨ク行ケヌヂヤナイカト
云フヤウナ懸念ガサレルノデアリマス、先
づ最初ニサウ云フ前提ノ下ニ御尋致シテ見
タイノハ、其作ラレル委員會ノ構成ノ如何
デアリマス、ドウ云フ風ニシテ委員會ヲ作
ラレルカ、朝野ノ學者デアルトカ、權威者
ヲ集メルト云フヤウナ、一應御説明ガアッ
タノデアリマスルガ、吾々ハ從來ノ委員會

ノ構成ニ對シテ考ヘテ見マスノニ、政府ガ作ツテ居リマスル委員會ハ、何時デモ政府ガ示ス案ヲ其儘鵜呑ミニスル、中ニハ多數ノ官吏ガ委員ヲ致シテ居リマスルカラ、何時デモ政府ガ出ス案ガ多數デ通過スル、民意ヲ多分ニ含メルト言フガ、民意ガ其中ニ含マレルコトハ殆ド不可能デアリマス、何ノ案デモ政府ガ委員會へ出ス案ガ其儘通ラナイコトハナイ、鐵道關係ノ委員會ニシマシテモ、農林省關係ノ多數ノ委員會ニシマシテモ、其他何處ノ委員會デモ委員會ハ政府ノヤル仕事ヲ單ニ「カムフラージュ」スルツノ便宜ニ使ハレルダケデアツテ、眞ニ其委員會ニ依ツテドウナタスウナタト云フコトハ、未だ嘗テ例ヲ見タコトガナイト云フヤウナ譯デアリマスルカラ、此委員會ノ中ニ果シテ眞ノ農民代表ヲ御入レニナル御考デアルカドウカ、眞ニ農民ノ利益ヲ擁護シテ、從來兎角不當ナル利益ヲ占テ參ッタ所ノ肥料業者ニ對シテ、或ル程度ノ牽制ヲスルダケノ勢力ヲ持タセルカドウカト云フ、其御方針ニ付テ先ツ最初ニ承ッテ見タイノデアリマス

總テノ相談ヲシテ居リマスシ、現在意見ノ不一致ハナインデアリマス、將來ニ於キマシテモ共同所管デアリマス以上、一致シテ進ンデ行ク積リデアリマス、兩省ノ所管デアリマスカラシテ、委員會ハ内閣ニ置クト云フコトニシテアルノデアリマス、委員會ノ構成ニ付キマシテハ、只今御意見モアリマシタガ、生産者ノ代表ヲ入レルノハ勿論デアリマスガ、同時ニ消費者ノ代表モ入レマシテ慎重ニ考ヘテ行ク積リデアリマス、此段御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

テ居ルナラバ、今日ノ如ク疏安ガ百三十圓ニナツタ、九十圓ニ下ッタト云フヤウニ暴騰ニ暴落スルモノヲ其儘放任シテ、何等之ニ手ヲ下スコトガ出來ナカツタ、ドウスルコトモ出来ナカツタ、コンナ馬鹿々シ見込達ヒハアラウ筈ハナイト思フ、所ガ兩方ノ役所デ片ツ方ハ斯ウダト云フ、農林省ハ斯ウダト云フ、愚圖々シテ居ル間ニ肥料ハ暴騰シタリ暴落シタリスル、而モ此肥料ニ對シテ兩者ガ何モシナカツナラ宜シイ、農林省ニハ立派ナ肥料課ト云フモノガアリ、商工省デモソレヽノ係ノ役人ガ付イテ居ツテ、配給組合ニ對シテ常ニ監督シテ居ラレル、法律ガナカツカラト仰シヤルケレドモ法員ニ對スル答辯ニ於テモチヤントサウ言ウテ居ラレル、サウ云フヤウニ知ラナイ間ニナツタノナラ宜シイガ、十分承知シテ居ツテア、モシテ見タイ、斯ウモシテ見タイト云フ兩方ノ考ガソレヽ喰違ツテ居ルカラ、數字的ニ云フナラバ外安ハ何萬越入レルカ、共入レル數ニ付テモ兩省一致シテ居ラヌ、一度モナイ、是ハ内輪話ヲスル迄モナク新

ガ、商工省ハ肥料配給組合ノ生産者ノ代辯ニナッテ——生産者ト一緒ニナッテ大體需給ハ足リルト云フ、農林省ハ農村ノ味方ニナッテ足ラナイト云フノデ、兩方デ愚圖圖シテ居ル間ニ雪ガ降^ツテ桑ニ肥料ガヤレナカッタ、消費ガ減^ツタ、ソコデバタ〜下^ツテ九十圓ニナル、全ク當局ニハ頭ガニツアル爲ニ肥料ニ對シテハ甚ダ迷惑デ、其爲ニ農民ガドレダケ迷惑シテ居ルカ分ラヌ、モット露骨ニ内容ヲ申上ゲレバ、昨年内地ノ硫安配給組合ガ外國ノ肥料ヲ買フニ付テハ三井物産ノ手ヲ通ジテ買フコトニシヨウ、而モ外ノ者ノ手ヲ通ジテハ買ハヌコトニシヨウ、買フ値段ハ何ト決メマシタ、百十四圓以下デハ買ハナイ、百十四圓デ買ハウト云フ相談ヲシテ、チャント協定ヲシナ居ル、而モ前議會ニ於テ、商工大臣ハ何ト答辯シテ居ラレルカト申シマスルト、當業者ハ九十三圓程度デ配給スルカラ、其程度デ諒トシテ貰ヒタイ、九十三圓位ノ値段ヲ認メテ貰ヒタイ、尙ホウマク運用シテ參ルカラ、ラト云フコトヲ立派ニ衆議院デ前商工大臣ハ答辯シテ居ラレル、民政黨ノ總裁デアル

ノ暮ニナツテカラ、當業者ノ配給組合ガ外安側ト輸入ノ値段ヲ協定スル時ニドンナ協定ヲシタカ、百十四圓デ協定シヨウ、餘リ安イ值デ賣フテ貰ッテハ困ル、斯ウ言ッテ協定シテ居ル、而モ更ニ怪シカラヌノハ、外安側ノ方ハドウカト云フト八十四圓ダ、本當ノ値段ハ外安側ノ方ハ八十四圓ト云 フヤウニ言フテ居ル、外國肥料ガ八十四圓デ日本人ニ賣ラウト言フノヲ、ワザ＼＼内地ノ肥料屋ガ好キ好ンデ百十四圓デ買ハウト言ッテ相談シテ居ル、而モ外ノヤツガ買フト、九十圓臺、八十圓臺ノ外安ヲ買ッテハ困ルカラ、買フ場合ハ三井一手デ内地ニ輸入シヨウ、斯ウ云フ馬鹿々々シイコトヲ直接ノ監督官廳デアル商工大臣ハ何ト見テ居ラレル、之ニ對シテ何カ商工省ガ意見ヲ持ッテ、是等ノ當業者ヲ抑ヘラレタコトガアルカドウカ、斯ウ云フ際ニ、此協定ヲ默ッテ見テ居ラレタ、私ヲシテ率直ニ申サシメルナラバ、嘗テ肥料ノ輸出入許可制度、疏安ノ輸出入許可制度ヲ勇敢ニ御出シニナツタ商工當局ハ、何故斯ノ如キ不當ナル協定ヲ爲スモノニ對シテ、許可制度ヲ御出シニナラナカッタカ、是ハ議會ニ出サズトモ前例ガアル、嘗テ疏安ノ輸出入許可制度ヲ御出シニナツタ

當局ガ、斯ウ云フ風ナ當業者ガ不當ナル滅
茶ナコトヲヤル場合ニ、何故敢然トシテ御
農家ノ爲ニ圖ラレナカッタカ、恐ラク農林當
局ハ齒ヲギリ／＼サセテ焦ラレタデアラ、ウ
ト思フ、幾ラ焦ツデ モ商工省ノ方ガ頑トシ
テソレデ宜イト云フ恰好ヲシテ居ルカラ行
カナカッタノグラウト思フ、兩省ノ間ニ全ク
意思ノ疏通シナイ點ガアッタコトハ事實ナ
ンデス、併シ是ハ小川サンガ當時大臣デナ
カッタノデアルカラ、小川サンヲ責メル譯ニ
ハ行カナイガ、嘗テノ當局ハサウ云フ態度
ヲ執ツテ居ラレタ、ダカラ私ハ此案ニ付テモ
甚ダ不満ノ點モアリマスガ、是デモセメテ
アッタラ、運用サヘウマク行ケバ何トカナル
ノデハナイカト云フ氣持ガスルカラ、去年
ハ絶對反對シタケレドモ、無キニハ優ル點
ガアルカラ、今年ハ通シテ置イタ方ガ宜イ
ノデハナイカト云フ氣ガスル、ダカラ私ガ
主トシテ伺ヒタイ點ハ、從來ハ斯ウ云フ風
ナ態度デアッタカラ、餘程此際商工大臣ハ腹
ヲ締メテ掛ツテ貰ハナケレバハイカヌ、兎角從
來ノ行掛リニ捉ハレテ、事務當局ノ間ニハ
ウマクヤルヤルト言ツテモ、中々ウマク行ク
マイト思フ、又農村ノ代表、直接百姓バカ
リニ會ツテ居ル農林省ノ人ト、商人ニバカリ

會^ハテ居ル商工省ノ人トハ、ドウシテモ感情シテハ、十分其氣持デヤ^ツテ貰ハナケレバイカヌト云フコトヲ私ハ言ヒタイノデアルガ、今ノ商工大臣ノ御答辯ガ甚ダ當ヲ得又モノト思ヒマスカラ、重ネテ一ツ御答ヲ願ヒタイト思フ

○小川國務大臣 過去ノ色々ノアッタコトニ付キマシテ御話ガアリマシタガ、實ハ河野君ノ御話ノ通リニ私能ク存ジテ居リマセヌ、併シ此内閣ガ出來マシテカラハ、農林大臣ト私ト能ク相談致シマシテ、肥料ノ問題ダケデハアリマセヌ、米ノ問題ニ付テモ、兩省ガ關係ノアルコトハ皆一ツ能ク協調シテ行キタイ、斯ウ云フコトデ、今モ其氣持デアリマス、今後モソレデ進ンデ行カウト思フノデアリマス、河野君ノ御話ハ私ニ對スル好意ノ御忠言ダト思フノデアリマシテ、拜承シテ置キマシテ、御希望ニ副フヤウニ成タケ努メタイト思ヒマス

○河野委員 只今ノ御答辯満足致シマス、次ニ御尋シテ見タイノハ、朝鮮ト申シマスカ、外地ニ於ケル本法運用ノ結果ニ付テ御尋シテ見タイノデアリマス、只今戴キマステタ此材料ノ中ニ、外地トノ關係ト云フ御説明ニナツテ居リマスガ、此御説明デ私ハ満

足ガ出來マセヌノデ、此機會ニ更ニ承^トテ見
タイト思ヒマス、外地ニ於ケル例ヘバ朝鮮
塗素ノヤウナモノデアリマス、之モ恐ラク
ソレヲ指シテ居ラレルト思フノデアリマ
ス、朝鮮塗素ノヤウナモノガ——又サウ云
フ風ニ名前ヲ指シテ言フノハドウカト思ヒ
マスケレドモ、從來日本ノ硫安界ニ於テ、
一番農家ノ爲ニ不爲ニヤッタノハ、ハッキリ
言ヘバ朝鮮塗素デアル、其一番面倒ナ、吾
吾カラ言ヘバ一番面白クナイ其朝鮮塗素ガ
朝鮮ニ籍ヲ構ヘニテ居^トテ、果シテ此組合ニ
入^ツテ吳レバ宜イガ、入ラナクテモ文句ハ言
ヘナイダラウト思フ、サウ云フ場合ニ當局
ハドウ爲サルカ、之ニハ外地ニ製造ヲ營ン
デ居ルモノモ入ルコトガ出來ルトナ^ツテ居
ル、幸ニ入^ツテ吳レバ非常ニ宜イガ、此方デ
以テ此法律ヲ吾々ノ希望通リニ當局ガ運用
セラレル時ニハ、恐ラク朝鮮塗素ハ入ラヌ
ダラウト思フ、入ラズニ勝手ナ事ヲヤラレ
タラ一體ドウ云フコトニナリマスカ、又滿
洲化學ノ如キモサウデアリマス、是等ノモ
ノニ對シテハドウ云フ風ニ爲サルカ、又從
來ノ例ニ依リマシテモ、朝鮮ノ硫安ト内地
ノ硫安トハ必シモ其動向ヲ一一シテ居ラ
ヌ、寧ロ今マデノ實績^ト行キマスナラバ、例
ヘバ去年デアルトカ、一昨年ノ實績ニ付テ

○河野委員 只今ノ御答辯一應諒承致シマスガ、兎角從來デモ内地ヨリモ朝鮮ノ方ガ安イ肥料ヲ使ッテ居ル、是ハ内地ノ肥料屋ガ横暴デアッタカラサウ云フ風ニナッテ居リマスケレドモ、安イ肥料ヲ使ッテヤッテ居リ當局ガ果シテ吾々ニ御説明ノヤウニ運用ノ妙ヲ得フレマスナラバ、彼等ハサウ云フヤウナ面倒ナ所ニハ入ラナイデ、朝鮮ハ朝鮮デヤッテ行クト云フヤウナ氣持ニナリハセヌカト思フ、其場合ニ當局ハドウ爲サルカト云フコトニ付テ承ッテ置キタイ

○小川國務大臣 本法ハ内地ノミニ施行セラレルコトニナリマスノデ、隨テ外地ニハ直接施行シマセヌケレドモ、河野君ノ御話ノヤウニ肥料ノ販賣ニ關スル統制ハ、内地外地ヲ通シテ行ハナケレバ完璧ヲ期スルコトハ出來ナイ、ソコデ外地ニ於キマシテモ、本法ト同趣旨ノ法則ヲ實施シテ之ヲ運用スル、斯ウ云フコトニナラナケレバナリマセヌノデ、朝鮮モサウナルベキデアリマス、併シ其重要事項ニ付キマシテハ双方打合セヲ行ヒマシテ、常ニ同一ノ方針ヲ執ルヤウニ外地ノ關係官廳ト協議シテ、協議濟ニナッテ居リマスカラ、河野君ノ御心配ハナイヤウニ思ツテ居ルノデアリマス

總督モ偉イ、朝鮮總督ガ偉イカラ旨ク行カ
ナイ、ソコデ何時デモ米ノ問題ニシテモ、
内地ノ大臣ガ三人モ四人モ掛ッテモ、朝鮮總
督ニヤツ付ケラレテ旨ク行カナイ、其實例ガ
アル、ダカラサウ云フモノデモ外地ト協定
シテヤルト仰シヤッテモ、向フニ都合ノ好イ
協定ハ出來ルデアラウカ、向フニ都合ノ悪
イコトハ何時モ此方ガ負ケルヤウナコトニ
ナリマスカラ、其點ハシッカリ禪ヲ締メテ
掛けテ貰ヒタイ、只今ノ御説明ノヤウニヤッ
テモ後カラ文句ヲ言ハヌデモ宜イヤウニシ
テ貰ヒタイ

コトハアリマセヌケレドモ、今日ノ如ク農業經營ノ實體ガ硫安ヲ使フコトガ非常ニ流行ツテ來タ、從來豆粕ヲ使ツテ居タ者モ硫安タ、サウスルト一一遍使ヒツケルト便利デ重寶デアルカラ、當局ガ堆肥獎勵ヲサレテモ中申其方ニ向キニクト同様ニ、一遍硫安ヲ使ヒツケタ者ガ、例ヘバ桑ノヤウナ速效肥料ヲ必要トスルモノハ、ドウンテモ是デナケレバイカヌトスルト、一朝有事ノ際ニナルト暴騰スル、足リナクナル、其子弟ハ戰爭ニ行ツテ効力ナケレバナラヌノニ、家ノ方デハ肥料ガ高クテ百姓ノ經營が困難ダト云フコトニナルト、其爲ニ農村ハ二重ノ負擔ヲ負ハサルコトニナル、サウ云フ場合ニ對シテ當局ハ果シテ如何ナル方針ガアルカ、對策ガアルカ、現ニ今日デモ相當ノ外安ガ必要デアル、私ハ恐ラクコンナ不合理ナモノハ、我國ノ產業界ニモ實例ハ少イグラウト思フ、尤モ此頃ハ「ビル」ダトカ、其他ノ統制ニ依ツテ——「セメント」デモサウデセウガ、色々最近ノ統制流行リノ世ノ中ニ旨イ工合ニ帆ヲ上ゲテ非常ナ暴利ヲ食ツテ居ル多數ノ實業家ノアルコトヲ、甚ダ羨マシイトモ思ヒマセスガ、聞及ンデ居リマスガ、硫安ノ如キハ其最タルモノデアリマス、此

非常ニ貧困シテ居ル百姓ノ懷ロヲ搾リ上ゲ
テ、サウシテ何ガ儲カルト言ツテモ疏安ノ
製造位儲カルモノハナイダラウ、併シ如何
ニセん、千五百萬圓モ二千萬圓モ資本ノ掛
カル商賣デアルカラ、手ヲ出サウシテモ
チヨックラチヨイト手ヲ出セナイ、ダカラ見
ス見ス儲カルト分ッテ居ッテモ誰モ手ヲ出セ
ナイ、大資本家、大財閥ダケガ勝手ニ儲ケ
テ居ル、コンナニ儲カルモノナラバ、普通
ノ商賣ナラ誰デモヤレルカラ經濟ノ原則デ
巧ク行クダラウト思フ、併シ誰デモ手ヲ出
セナイ所ニ一部ノ財閥ノ暴利ヲ其儘見過シ
テ黙ッテ居ラナケレバナラヌ、是程不合理
ノモノハナイ、デアルカラ寧ロ當局ノ政策
トシテハ、統制ヨリモ増産ノ獎勵ガ宜イ、
増産ノ獎勵サヘサレルナラバ、低利資金ヲ
出シテヤルトカ、當局ガ半官半民デ製造會
社ヲ造ルトカ、理想的ニ言ヘバ國營デアリ
マスケレドモ、要スルニ澤山肥料ヲ造ルヤ
ウニサヘスレバ統制モ養モナイ、元來是ハ
減茶々々ニ増産サレテ困ル時ニ——過磷酸
ノヤウニ無暗ニ出來テ困ル場合ニハ是ハ多
少統制ノ必要モアルデセウガ、今日ノ疏安
ガ重點デナケレバナラヌ、然ルニ當局ハ果
シテ此増産ノ獎勵ニ對シテハ如何ナル方

○小川國務大臣 河野君ノ御意見ハ御尤ト
思ヒマス、此法律ノ狙ヒ所ハ申上ダマシタ
通リニ豊富且ツ低廉ナル肥料ヲ提供スル
マシテハ今日足リマセヌノデスカラ、ソ
レデ問題ガ起ツテ居ルノデス、此疏安ニ付
テハ先ヅ自給自足ト云フコトガ狙ヒ所デ
アリマスシ、更ニ進ンデハ此輸出ガ出來ル
ヤウニ平時ニ於キマシテハ輸出ノ出來ルヤ
ウニ、サウシテ戰時ニ於キマシテハ、ソレ
ガ軍需品ヲ持ヘルヤウ仕向ケルコトノ出來
ルヤウニ、デアリマスカラ此自給自足ノ所
ダケヲ狃ツテ居ルノデハナイ、モウ一步進
ダ所ヲ考ヘテ居レバ戰時ニナリマシテモ、
農村ガ肥料ガ不足シテ困ルト云フコトノナ
イヤウニナリハセヌカト思フノデアリマス、
デ最後ニ御述ベニナリマシタヤウニ、是カ
シタヤウニ非常ニ儲リ過ギルノデハナイカ、
ソレヲ何トカ抑ヘル必要ガアルノデハナイ
マスニハ此委員會デモ色々御議論ニナリマ
シタ云フコトノ御意見モアッテ、御質問モア
ル位デアリマスカラ儲カルヤウナ具合ナラ
バ無理ニ増産ノ獎勵ヲ致シマセヌデモ自然

ニ工場ガ擴張セラレマシテ、増產ニナルト
思フノデアリマス、ソレデアリマスカラ茲
ニドウ云フ增產ノ具體案ガアルカト申シマ
スト、ソレハ別ニ持チ合セテ居リマセヌ、
政府ハ、自然ニ增產ガセラレルモノデアツ
テ遠カラザル中ニ自給自足ト云フヤウナ域
ニ達シ得ラレル、隨テ價格ハ自然ノ勢デ段
段安クモナル傾向ヲ辿ルノデハナイカ、斯
ウ云フ見込ヲ持ッテ居ルモノデアリマス
○河野委員 只今ノ商工大臣ノ御答辯ニ依
リマスト、一應御尤ノヤウニ聽ヘマスガ、
ソレナラバ是ハ昨日、今日値段ガ高クナツ
テ儲カルヤウニナツタ品物デハアリマセヌ、
去年モ一昨年モ儲カツテ居ル、數年來儲カツ
テ居ルモノガ、利ニ敏イ商人ガ、又實業家
ガ何故之ヲ一體増產セラレナカツタカ、增產
ノ度合ガ當局御發表ノ通リニ進ンデ居ラヌ
ノハ一體ドウ云フ譯カ、年々私ガ材料ヲ要
求シタノハ、ソレデ要求シタノデアル、今
マデ當局ガ議會ニ御發表ニナツタ露給推算
デ今年ハ何處ガ何萬噸ノ增產ノ豫定デアル、
何處ノ工場ガ何萬噸ノ增產ノ豫定デアル、
デアルカラ來年ハ斯ウナルト御示ニナツタ
コトガサウナツテ居ラヌ、一體ドウシテソ
レナラバモット需給ガ一杯ニナラヌノカ、
外國ニ輸出シテモ、時ニハ儲カルヤウニ輸

出モ出來ルノニ何故サウナラナイノカ、具體的ノ實情ニ付テ御示ヲ願ヒタイ、御尋致

○小川國務大臣

○小川國務大臣 委員會、文政府委員、力が
ラ 説明致シマセウガ、私大體論カラ申シマ
スト、儲カルカラウント生産セラレル、是
ハ當然サウナルベキデアリマスガ、併シソ
コニハ一躍ト云フ譯ニモ行キマセヌデ、一
ツノ仕事ヲ擴張シタカラト云ッテ直グ面目
ヲ改メルヤウニハ行カヌノダト思フノデ
ス、私ノ承知シテ居ル所デハサウ云フ傾向
ニナッテ居ルト思フノデアリマス、需給ノ
見込デアリマスガ、ソレハ民間ノ方ノ需給
御見込ヲ其儘取次イデ發表シタコトハアル
カモ知レマセヌ、ソレガ合ハナカッタ、斯ウ
云フ御問デアリマスレバ、或ハサウ云フコ
トデアッタカモ知レマセヌ、併シ一方ニ於
キマシテハ其需要ノ増加ト云フモノガ相當
豫想以上デアリマシテ、肥料ノ生産ハ増シ
テモ、更ニ需要ガ多クナッテ、爲ニ何時モ自
給自足ニ早クナリサウデアッテナラムト云
フヤウナ事情ハアルト思フノデアリマス、
大體ノ説明デアリマスガ、尙ホ具體的ノ數
字ハ政府委員ヲシテ答ヘサセマス

ゲテ見タイノハ、需給ノ數字ハ民間ノヲ
取次イグ儘デアル、サウ云フ無責任ナ民
間ノモノヲ議會ニ取次グ、先程確ニ、生産
費ノ點ニ付テハ、是ハ大分押合ヒヲヤッタ
結果、當局ハ苦シ紛レニ民間ノヲ其儘取次
グト言ッテオ茶ヲ濁シタコトガアリマス、
サウシテ民間ノヲ其儘發表スルト云フ例ハ
アリマス、併シ少クトモ需給推算ハ民間ノ
ヲヤルモノデハナイ、民間モヤルデセウケ
レドモ、ソレハ勝手ノ推算デ、ソンナモノノ
デハナイ、現ニ農林省ト商工省ノ間ニ需給
推算ノ喰違ヒガアッテ、議會デ問題ヲ起シタ
コトガアル、無論商工省ハドウ云フ意味合
デヤラレタカ知ラヌガ、商工省ト農林省ノ
間ノ需給推算ノ上ニサヘ喰違ヒガアッテ、政
策ガニツニ出テ居タト云フ實例モアル、又
其後段々御示シニナツカ需要ノ方ガ殖エタ
カラ生産ノ方ガ間ニ合ハナイノダト云フ御
答辯デアリマスガ、是モ私ハ當ヲ得ナイト
思フ、何故ナラバ是ガ外ノ數量ヲ調節スル
トカドウトカ云フコトナラ別デアリマス、
併シ企業家ノ狙フ所ハ需給ノ數量ヲ目標ニ
シテ狙フコトモ、確ニ其要素ニナツテ居ラヌ
トハ申シマセヌ、併ナガラ大體ハ儲カルカ
儲カラヌカ、此仕事ガ利益ガアルカナイカ、而
見透シハドウカト云フ問題デアリマス、而

モ更ニ一步譲^ツテ申シマスナラバ、當局ハ數字的ニ御説明ニナルト言フガ、ソレハ承ラヌデモ分^ツテ居ル、當局ガ言^タ其通リニナル例ガナイ、何時デモ當局ハ一般百姓ニハ辛ク當ラレマスガ、エライ實業家ガ是ダケ造ル、製造會社ガ是ダケ造ルト言ヘバ、直ダソレヲ其儘持^ツテ來テ出來ルト考ヘルガ、其受繼ギヨヤッテ、出來モセヌノヲ何時モ是ダケ造ルト言フカラ需要ノ方ハ是ダケアルノダト言^ツテ御答辯ニナル、ダカラ其年度末ニナツテ來ルト何時デモ喰違ヒニナツテシマフ、需要ノ最盛期ニ至^ツテ何時デモ疏安ガ暴騰スル、而モ肥料ノ問題ハ、小川サン御承知ノ通り昨日今日始^ツタ問題デハナイ、田中元總理大臣ノ頃カラモウ始^ツテ居ル、田内閣ノ頃カラ肥料ノ問題ガ始^ツテ居^ツテ、今日マデノンベンダラリ何時デモ工合悪クバカリ行^ツテ居ル、何レノ年デモ上手ニ行^ツタシタコトハ僅カ一二年デア^ツテ、其他大部分ハ製造會社ガ非常ニ巧クヤ^ツテ居ル、而モ最近四五年ハ何時デモ製造會社ガ非常ニ暴利ヲ食^ツテ、農家ニ高イ肥料ヲ配給シテ居ル、而モ其利益ガ斯ウ云フ外ノ實情ニ依^ツテ起^ツ

用ニ依ツテ利益ヲ得テ居ル、配給組合ガ値段ヲ幾ラニ決メヨウ、オ互ニ表ニハ出サヌガ、ヤレ箱根會議ダトカ、京都會議ダトカ云ウテ、日本ノ一番景色ノ好イ、氣候ノ好イ所ニ集ツテ重役ガ横暴ノ限リヲヤツテ、何トカ會議ヲ開キ、百姓ヲイデメテ居ル、ソレヲ黙ツテ吾々百姓ノ代表デモ百姓モ見テ居ル、ソレヲ代辯者ニナツテ議會ノタビニ商工省ガイズメラレテ居ル、何ノ爲ニ商工省ガギユウギユウ言フノカ分ラヌ、而モ商工大臣ハサウ云フ無理ナ御答辯ヲ爲サラズニ、モットシテ儼然タル態度ヲ以テ臨マナケレバナラ真劍ナ氣持デ、庶政一新ノ氣持デ是等ニ對ス、吾々一般ガ要望致シマスヤウニ、要スルニ硫安ガモット出來レバ宜イ、今ノ儘放任シテ置イタナラバ彼等ハ造ラナイノデアリマス、今ノ儘ニシテ置イテ當局ハ彼等ガ儲カルカラ造ルダラウ、經濟ノ原則ニ依ツテ行クダラウ、ダラウ／＼ト言フノガイカヌ、彼等ノ配給組合トカ、彼等ノ相談ニ依ツテ何時デモヤレハシナイ、私ハ敢テ想像論ヤ豫想ヤ推測デ言フノデハナイ、今後モ必ズ商工大臣御答辯ノヤウニ、其中ニ需給モ丁度好ク行クダラウト云フヤウナ御答辯ナラサウ云フ風ニ持ツテ來ルカラ敢テ言フ、只今バ、吾々ハ満足スルコトハ出來マセヌ、ノ

ミナラズ此法律ニモ外安ニ對スル輸入ノ點ニ觸レテ居ラレルガ、若シモ是ガドンニ只今商工大臣御示シノヤウニ、内地デ増産セラレテ外國ニ輸出スルマデニ行クトスレバ、輸入ノ點ニ付テハ當局ハ考ヘラレヌデモ宜イ苦デアル、所ガ恐ラクソレハ兎モ角輸出ノ場合ヲ考慮シタノデアルト御示シナルカモ知レマセヌガ、世ノ中ハ當局ノ言フヤウニ、サウ都合好イヤウニ行クモノデハナイ、現ニ何千萬圓ト云フ資本ヲ掛ケテヤツテ居ル會社ガ、サウ都合好クヤツテ吳レルモノデハナイ、ソコヲ旨クヤツテ貰ハナケレバナラヌ、サウスレバスンナ法律ヲ作ラヌデモ宜イ、ダカラ吾々ガ目標トスル所故ニ當局ハ増産ノ計畫ニ對シテ如何ナル成算ガアルカト云フコトサヘ承レバ宜イ、内容ノ細カナコトヲ聽カヌデモ宜シ、此點ガ重點デアリマスカラ、ハッキリモウ一度御答辯ヲ願ヒマス

○小川國務大臣 一寸前ノ私ノ答辯ノ中ニ言葉ガ足リナイヤウデアリマシタガ、生産推算ハ民間ノ推算ヲ其儘認メテ、ソレヲ資料トシテヤツテ居リマスガ、需給推算ハ政府ノ方デヤツテ居リマス、ソレヲ私申上ゲマセヌデシタカラ左様御承知願ヒマス

ミナラズ此法律ニモ外安ニ對スル輸入ノ點ニ觸レテ居ラレルガ、若シモ是ガドンニ只今商工大臣御示シノヤウニ、内地デ増産セラレテ外國ニ輸出スルマデニ行クトスレバ、輸入ノ點ニ付テハ當局ハ考ヘラレヌデモ宜イ苦デアル、所ガ恐ラクソレハ兎モ角輸出ノ場合ヲ考慮シタノデアルト御示シナルカモ知レマセヌガ、世ノ中ハ當局ノ言フヤウニ、サウ都合好イヤウニ行クモノデハナイ、現ニ何千萬圓ト云フ資本ヲ掛ケテヤツテ居ル會社ガ、サウ都合好クヤツテ吳レルモノデハナイ、ソコヲ旨クヤツテ貰ハナケレバナラヌ、サウスレバスンナ法律ヲ作ラヌデモ宜イ、ダカラ吾々ガ目標トスル所故ニ當局ハ増産ノ計畫ニ對シテ如何ナル成算ガアルカト云フコトサヘ承レバ宜イ、内

容ノ細カナコトヲ聽カヌデモ宜シ、此點ガ重點デアリマスカラ、ハッキリモウ一度御答辯ヲ願ヒマス

○河野委員 前議會ニ提出セラレマシタ法律ニハ増産ノ命令權ガアッタ私ハ記憶スル、所ガ今度ソレヲ御取リニナツタノハドウ云フ譯デアリマスカ

○戸田政府委員 便宜私カラ御答致シマス、前ノ法案デハ許可制度ニナツテ居リマシテ、肥料工場ノ整理トカ、擴張等ヲ命ズルコトニナツテ

居リマシタ、ソレニハ別ニ國ガ金ヲドウスルカ云フコトデハナクヤツテ居リマシタ、是ハ許可制度ノ反射作用デアツタ譯デアリマス、所ガ今度ノ法制デハ、許可制度ハアリマスカラ、是ハ其時、其場合ニ依ツテ宜シキヲ得タイト思ツテ居リマス、河野君ノ一番重點ヲ置カレテ居ルノハ、疏安ニ付テハ増産センケレバナラヌ、全ク私等ト同ジヤウナ考デアリマス、増産ニ付テ何モ總テ自然ニ放ツテ置クト云フコトデハナイ、色ンナ方法デ増産ノ出來ルコトヲ期待スル譯デアリマス、尙ほ此場合ノ運用ニ付キマシテハ、今マデノ時ヨリハ政府ガサウ云フ方面ニ嘴テ入レル機會モアルコト考ヘルノデアリマシテ、此法ノ運用ニ依リマシテモ、サウ云フ云フ目標ニ向ツテ進ミタイト思フ

○河野委員 只今ノ御答辯ニ依ルト、運用ノ如何ニ依ツテサウナルノダ、是ハ無論法律ハ總テサウデス、此法律デモ運用ノ如何ニ依ツテハ弊害ダケ出テ來ルカモ知レナイ、併シ今政府委員ノ御答辯ニ依ルト、運用ガルヤウナ、又吾々ガ希望スルヤウナ結果ニハナツテ來ヌト思フ、併シ只今ソレヲ御採リニナツタ理由ハ、裏面ヲ言ヘバ商工會議所アタリノ希望ニ依ツテ採ツタノグラウト思フ、ソレハ確ニ今政府委員ノ御説明ノヤウニ、運用ガ惡ケレバ弊害ガアルニ決ツテ居リマス、ドウ云フ法律デモ皆サウダ、併シ唯運用ノ惡イコトヲ憂ヘテソレヲ御採リニナツタト云フヤウナ御説明デハ私ハ満足出来ヌ、

他ニ代ルベキ増産獎勵ノ計畫増産獎勵ノ方
策ガアレバ別デアリマスガ、ナケレバ其答
辯デハ満足出來ヌ、殊ニ吾々同志、總テノ期
待スル所ハ増産獎勵ニ對シテ、ドウ云フ意
圖ガアルカト云フ所ニ吾々重點ヲ置イテ居
リマス、是ハーツ農林大臣、商工大臣、乃
至ハ總理大臣御相談ノ上ニ明確ナル御答辯
ヲ願ヒタイト思ヒマス、大體後ハ資料ヲ戴
イテカラ質問致シタイト思フノデアリマス
ガ、最後ニ一ツ承^タテ見タイノハ、先程前
質問者カラ御尋ガアリマシタヤウニ、肥料
ノ取締ガ吾々ハ甚ダ不満足デアル、今日各
縣ノ實情ヲ見マシテモ一番——是モ言葉ヲ
慎ミタインデアリマスガ、私ノ見ル所デハ
一番墮落シテ居ル役人ハ肥料取締官ヂヤナ
イカト思フ、何處へ行^タテモ其弊害ヲ聞ク、
人ガ一番インチキダ、其爲ニ餘程迷惑シテ
居ル者ガ全國ニ多イラシイ、是ハ單ニ豫算
ヲ殖ヤストカ殖ヤサヌトカ云フ問題デナシ
ニ、質ソレ自身ガ惡イ、從來之ニ對スル監
督上遺憾ノ點ガアルノヂヤナイカト思フ、
之ニ對シテ事務當局ノ御考ヲモウ一度承^タ
テ見タイト思フ

居リマス、是ハ最近ニ於ケル化學ノ進歩ハ著シイモノガアリマスカラ、ソレニ適應セシメルニハ現在ノ資格デハドウモ不十分ナル點ヲ吾々モ實ハ感じテ居リマス、是モ一般豫算ノ問題トモ關係スルノデアリマシテ、出來ルダケ其方向ニ進ミタイト云フコトヲ

○河野委員 只今申シマシタヤウニ、此肥
料取締官ハ無論其素質ヲ變ヘル必要モアリ
マスルガ、財政ノ都合デ許サヌノナラバ、
現在ノソレゝノ取締官ニ對シテモ、當局
ハ更ニ一段ノ御監督ガ願ヒタイト思フ、是
ハ希望致シテ置キマス、尙ホ他ニ満洲化學
關係等ニ付テ質問ヲシテ見タイノデアリマ
スガ、是ハ材料ヲ戴イタ上デ致スコトニ留
保シテ置キマス、其時ニハ對滿事務局ノ總
裁カ何カ知リマセヌガ、陸軍大臣等ノ出席
モ御願シタイト思ヒマス、私ノ質問ハ今日
ハ此程度ニ致シテ置キマス

云フコトヲ前提トシテ質問ヲ進メテ行カウト思ヒマス、私ガ質問ヲ致サウト思ッテ居リマス、大半ノ要點ニ付キマシテハ、前佐竹君、河野君兩氏ノ質問ニ依ッテ或ル程度マデハ盡サレテ居リマスノデ、時間ノ關係上重複スル點ニ付テハ遠慮致シマスガ、先づ第一ニ私ハ本案ニ對スル贊否ノ兩論ヲ吾ノ決メルニ當ッテ、恐ラク是ハ私ダケデハナイダラウト思ヒマスルガ、總テノ人達ガ本案ニ對スル贊否ノ兩論ヲ決メルニ當ッテ吾ガ決メルニ當ッテ、恐ラク是ハ私ダケデハナイダラウト思ヒマスルガ、總テノ人達ガノ根本要件ト云フモノハ、之ヲ提案サレマシタ當局ノ指導精神如何ニアルト信ズルモノデアリマス、何トナラバ一般ニ本案ヲ概評致シマスナラバ、甚ダ不徹底ニシテ且ツ非常ニ不明瞭ノモノデアル、斯ル不明瞭ナルモノガ世ノ中ニ出々場合ニ於テ、却テ一方ニ於テハ肥料業者ヲ困ラス、或ハ農民ヲ惑ハスヤウナモノデハナイカト云フヤウナ懸念ガ菴間ニ傳ブテ居ルコトハ、私ハ否定出来ナイ所ノ事實デアルト思ヒマス、併シ私ト致シマシテハ、結論カラ申シマスナラバ、本案ハ今議會ニ於テ是非共通過セシムベキモノデアル、通過サセタイト云フコトヲ考ヘテ居ル一人デアリマスガ、其要點ト云フモノヲ一言シテ見マスナラバ、農林大臣竝ニ商工大臣ガ本案ヲ提案サレルニ於キマシテ、

ヨリ農林當局ニ最初承リタイコトハ、島田農林大臣ハ屢々米ノ問題ニ於テモ、或ハ繭ノ問題ニ於キマシテモ、斯ウ云フコトヲ言ウテ居ラレル、米穀自治管理法案竝ニ產繭處理統制法案ハ固ヨリ不徹底デアル、併ナガラ政府ハ將來ニ於テ相當更始一新ノ立前ニ於テ、徹底セル米穀政策、徹底セル所ノ所謂養蠶政策ト云フモノヲ立テルカラシテ、本案ニ付テハ是非共今議會ニ於テ賛成ヲ得タイト云フコトガ、各委員會ニ於ケル農相ノ説明ノ要點ニナツテ居リマス、私ハ此肥料業統制法案ニ對スル所ノ農林當局ノ意見ト云フモノガ、島田農林大臣ガ各委員會ニ於テ説明サレマシタヤウニ、是ハ甚ダ暫定的ノ根本方針ヲ政府ハ立テル意思ガアル、此前提ノ上ニ立ツテ、本案ニ對シテハ今議會ニ於テ賛成スベシト云フ御意思デアルノカ、或ハ此肥料問題ダケハ商工省ノ關係ガアルカラサウデハナイノダト云フ點ニ付テ、願ハクバ最初ニ御答辯ヲ頤ヘレバ非常ニ結構デアルト思フノデアリマスガ、一つ御願致シタイ

他ニ代ルベキ増産獎勵ノ計畫増産獎勵ノ方 策ガアレバ別デアリマスガ、ナケレバ其答 辯デハ満足出來ヌ、殊ニ吾々同志、總テノ期 待スル所ハ増産獎勵ニ對シテ、ドウ云フ意 圖ガアルカト云フ所ニ吾々重點ヲ置イテ居 リマス、是ハツ農林大臣、商工大臣、乃 至ハ總理大臣御相談ノ上ニ明確ナル御答辯 ヲ願ヒタイト思ヒマス、大體後ハ資料ヲ戴 イテカラ質問致シタイト思フノデアリマス ガ、最後ニ一ツ承ッテ見タイノハ、先程前 質問者カラ御尋ガアリマシタヤウニ、肥料 ノ取締ガ吾々ハ甚ダ不満足デアル、今日各 縣ノ實情ヲ見マシテモ一番——是モ言葉ヲ 慎ミタインデアリマスガ、私ノ見ル所デハ 一番墮落シテ居ル役人ハ肥料取締官ヂヤナ イカト思フ、何處へ行ッテモ其弊害ヲ聞ク、 人ガ一番インチキダ、其爲ニ餘程迷惑シテ 居ル者ガ全國ニ多イラシイ、是ハ單ニ豫算 ヲ殖ヤストカ殖ヤサヌトカ云フ問題デナシ ニ、質ソレ自身ガ惡イ、從來之ニ對スル監 督上遺憾ノ點ガアルノヂヤナイカト思フ、 之ニ對シテ事務當局ノ御考ヲモウ一度承 テ見タイト思フ
○戸田政府委員 肥料取締官吏ノ素質ヲ向 上セシメル必要ガアルト云フコトハ感ジテ
居リマス、是ハ最近ニ於ケル化學ノ進歩ハ 著シイモノガアリマスカラ、ソレニ適應セ シメルニハ現在ノ資格デハドウモ不十分ナ ル點ヲ吾々モ實ハ感ジテ居リマス、是モ一 般豫算ノ問題トモ關係スルノデアリマシテ、 出来ルダケ其方向ニ進ミタイト云フコトヲ 念願シテ居ル次第アリマス
○河野委員 只今申シマシタヤウニ、此肥 料取締官ハ無論其素質ヲ變ヘル必要モアリ マスルガ、財政ノ都合デ許サヌノナラバ、 現在ノソレドヽノ取締官ニ對シテモ、當局 ハ更ニ一段ノ御監督ガ願ヒタイト思フ、是 ハ希望致シテ置キマス、尙ホ他ニ滿洲化學 關係等ニ付テ質問ヲシテ見タイノデアリマ スガ、是ハ材料ヲ戴イタ上デ致スコトニ留 保シテ置キマス、其時ニハ對滿事務局ノ總 裁カ何カ知リマセヌガ、陸軍大臣等ノ出席 モ御願シタイト思ヒマス、私ノ質問ハ今日 ハ此程度ニ致シテ置キマス
○西村委員長 平野君
○平野委員 本案ハ米蘭ト共ニ農民ニ取り マシテハ頗ル最重要ノ問題デアリマス、米 ト蘭ハ農民ノ生產品トシテ重要デアリマス シ、肥料ハ農民ガ直接金ヲ出シテ買フ物デ アルガ爲ニ、農民ガ肥料ニ對スル所ノ神經

云フコトヲ前提トシテ質問ヲ進メテ行カウト思ヒマス、私ガ質問ヲ致サウト思ッテ居リマス、大半ノ要點ニ付キマシテハ、前佐竹君、河野君兩氏ノ質問ニ依ッテ或ル程度マデハ盡サレテ居リマスノデ、時間ノ關係上重複スル點ニ付テハ遠慮致シマスガ、先ヅ第一ニ私ハ本案ニ對スル贊否ノ兩論ヲ吾吾ガ決メルニ當ッテ、恐ラク是ハ私ダケデハナイダラウト思ヒマスルガ、總テノ人達ガ本案ニ對スル贊否ノ兩論ヲ決メルニ當ッテノ根本要件ト云フモノハ、之ヲ提案サレマシタ當局ノ指導精神如何ニアルト信ズルモノデアリマス、何トナラバ一般ニ本案ヲ概評致シマスナラバ、甚ダ不徹底ニシテ且ツ非常ニ不明瞭ノモノデアル、斯ル不明瞭ナルモノガ世ノ中ニ出タ場合ニ於テ、却テ一方ニ於テハ肥料業者ヲ困ラス、或ハ農民ヲ惑ハスヤウナモノデハナイカト云フヤウナ懸念ガ菴間ニ傳ブテ居ルコトハ、私ハ否定出来ナイ所ノ事實デアルト思ヒマス、併シ私ト致シマシテハ、結論カラ申シマスナラバ、本案ハ今議會ニ於テ是非共通過セシムベキモノデアル、通過サセタイト云フコトヲ考ヘテ居ル一人デアリマスガ、其要點ト云フモノヲ一言シテ見マスナラバ、農林大臣竝ニ商工大臣ガ本案ヲ提案サレルニ於キマシテ、

ヨリ農林當局ニ最初承リタイコトハ、島田農林大臣ハ屢々米ノ問題ニ於テモ、或ハ繭ノ問題ニ於キマシテモ、斯ウ云フコトヲ言ウテ居ラレル、米穀自治管理法案竝ニ產繭處理統制法案ハ固ヨリ不徹底デアル、併ナガラ政府ハ將來ニ於テ相當更始一新ノ立前ニ於テ、徹底セル米穀政策、徹底セル所ノ所謂養蠶政策ト云フモノヲ立テルカラシテ、本案ニ付テハ是非共今議會ニ於テ賛成ヲ得タイト云フコトガ、各委員會ニ於ケル農相ノ説明ノ要點ニナツテ居リマス、私ハ此肥料業統制法案ニ對スル所ノ農林當局ノ意見ト云フモノガ、島田農林大臣ガ各委員會ニ於テ説明サレマシタヤウニ、是ハ甚ダ暫定的ノ根本方針ヲ政府ハ立テル意思ガアル、此前提ノ上ニ立ツテ、本案ニ對シテハ今議會ニ於テ賛成スベシト云フ御意思デアルノカ、或ハ此肥料問題ダケハ商工省ノ關係ガアルカラサウデハナイノダト云フ點ニ付テ、願ハクバ最初ニ御答辯ヲ頤ヘレバ非常ニ結構デアルト思フノデアリマスガ、一つ御願致シタイ

指導精神ハ那邊ニアルカト云フ御質問デアリマス、是ハ第一條ニモゴザイマス通り、供給ヲ豊富ニシ、又價格ヲ低廉ニスルト云フコトガ眼目デアリマス、此法案ガ農家經濟利益ノ爲ニ考ヘ、又肥料業ノ改善發達ノ爲ニ考ニ、現狀ト致シマシテハ此程度ニ於テ肥料ノ圓滑低廉ヲ期スルコト適當デアラウ、勿論國營トカ、或ハ公定價格ノ問題モ考ヘラル、ノデアリマスガ、是ハ今日ト致シマシテハ非常ニ重大ナ問題デアリマスカラ、十分ナル研究ヲ致シタ後デナケレバ、提案スルトカ云フヤウナコトハ出來ナイノデアリマス、現狀ニ即シテ本案ヲ施行致シマシタナラバ、相當ニ農家經濟ヲ利スル所ガアルト云フ信念カラ提出ヲ致シタノデアリマス

○平野委員 農林當局ノ態度ト致シマシテハ、私ハ固ヨリ然ルベキコトデアルト信ジマスガ、次ニ然ラバ商工大臣ニ御尋シタイノデアリマス、先程河野君ノ質問ノ中ニモ恐ラク本案ハ將來農林省ト商工省トノ衝突ヲ來スデアラウト云フコトガ、繰返サレテ居リマシテ、私モ其言ニ付テハ、確ニ爾ク信ズル一人デアリマス、之ヲ率直ニ申シマスルナラバ、肥料ヲ造ツテ賣ツテ儲ケヨウト相當者ト、非常ナ貧窮ノドン底ニアッテ、成

ベク安イ肥料ヲ買ハウトスル農民ノ利害トハ一致シナインデアリマス、若シモ之ヲ一片ノ法律ニ依ツテ旨ク胡麻化シテ、協調ガ出来ルト云フヤウナ考ヲ商工大臣方御持チデアルトスルナラバ、私ハ遺憾ナガラ認識不足デアルト決定シタイ、只今戴イテ居リマス重要肥料統制法案理由書ト云フモノニハ「肥料ノ需給ノ圓滑及價格ノ公正ヲ圖リ肥料製造業及農業經營ノ改善發達ヲ期スル」トアリマシテ、之ヲ一寸見レバ尤モデアルガ、能ク分解シテ農民ト肥料屋ト云フンナ旨イ譯ニハ行カナイ、是ハ吾々ハ農村ニ於テ永年ノ間、此問題ニ對シテハ隨分深刻ナル苦勞ヲ嘗メテ鬪ヒ來タ一人デアリマスガ、若シモ之ガ實施サレタ場合ニ於テ、先刻來商工大臣ガ説明ナサレタヤウニ、旨ク行カメト致シマスルナラバ、商工大臣ニ於テ肥料製造業者ニ對シテ相當ナル干渉、相當ナル制壓ヲ加ヘラル、ダケノ意思ガナケレバ、斯ウ云フ譯ニハ行カヌノデアリマス、之ニ對シテ商工大臣ハ今日ノ農民ノ困ニテ居ル現實ノ認識ノ神經ト云フモガ、肥料ニ對シテ如何ニ銳敏デアルカ其點ヲ相當御考慮ナサツテ、將來之ニ對スル所ノモ彼デモ反対ノ立場ニ起ツテ居ルト云フヤウナ思召デアルナラバ、ソレハサウ云フ

ベク安イ肥料ヲ買ハウトスル農民ノ利害トハ一致シナインデアリマス、若シモ之ヲ片ノ法律ニ依ツテ旨ク胡麻化シテ、協調ガ出来ルト云フヤウナ考ヲ商工大臣方御持チデアルトスルナラバ、私ハ遺憾ナガラ認識不足デアルト決定シタイ、只今戴イテ居リマス重要肥料統制法案理由書ト云フモノニハ「肥料ノ需給ノ圓滑及價格ノ公正ヲ圖リ肥料製造業及農業經營ノ改善發達ヲ期スル」トアリマシテ、之ヲ一寸見レバ尤モデアルガ、能ク分解シテ農民ト肥料屋ト云フンナ旨イ譯ニハ行カナイ、是ハ吾々ハ農村ニ於テ永年ノ間、此問題ニ對シテハ隨分深刻ナル苦勞ヲ嘗メテ鬪ヒ來タ一人デアリマスガ、若シモ之ガ實施サレタ場合ニ於テ、先刻來商工大臣ガ説明ナサレタヤウニ、旨ク行カメト致シマスルナラバ、商工大臣ニ於テ肥料製造業者ニ對シテ相當ナル干渉、相當ナル制壓ヲ加ヘラル、ダケノ意思ガナケレバ、斯ウ云フ譯ニハ行カヌノデアリマス、之ニ對シテ商工大臣ハ今日ノ農民ノ困ニテ居ル現實ノ認識ノ神經ト云フモガ、肥料ニ對シテ如何ニ銳敏デアルカ其點ヲ相當御考慮ナサツテ、將來之ニ對スル所ノモ彼デモ反対ノ立場ニ起ツテ居ルト云フヤウナ思召デアルナラバ、ソレハサウ云フ

ゴザイマスガ、一應商工大臣カラ此點ニ對スル比較的明快ナル御答ヲ一ツ願ヒタイト。思ヒマス、之ガ本案ニ對シテ私ノ賛成反對ヲ決スル分歧點デアリマス

○小川國務大臣 本案ハ既ニ説明致シマシ

タ通リニ、肥料ノ豊富且ツ低廉ナル供給ヲナサシメヨウト云フ所ニ目標ガアルノデアリマス、只今ノ所デハ問題ニナリマシタヤル」トアリマシテ、之ヲ一寸見レバ尤モデアルガ、能ク分解シテ農民ト肥料屋ト云フコトヲ正確ニ頭ノ中ニ描イテ見マスト、コントナ旨イ譯ニハ行カナイ、是ハ吾々ハ農村ニ於テ永年ノ間、此問題ニ對シテハ隨分深刻ナル苦勞ヲ嘗メテ鬪ヒ來タ一人デアリマス、デ低廉且ツ豊富ト云フコトガ目標トシテアル以上、今日ニ於キマシテ、ソレガ十分ニ理想的ナモノデナクテモ、今河野君ガ屢々強調セラレマシタヤウナ風ニ、疏安ノマス、デ低廉且ツ豊富ト云フコトモアルノデアリマス、ソレデ價格ガ動モスレバ思フヤウニ安クナラヌト云フコトモアルノデアリマス、此曖昧ニナツタ理由トシテハ、他ノ方面カラ色々ノ運動ガアツテ、其爲ニ斯ウ云フヤウニ曖昧ニナツタモノカ、或ハ商工大臣御自身ノ信念トシテ、今回提案サレタモノガ正シイト云フ信念ノ上ニ、變更サレテ出サレタモノカ、大變穿ツタヤウナ質問デ悪インデスガ、ヤハリ此點ガ肥料問題ニ對スル吾々ノ考方ノ上ニ於テ、相當重點デアリマスノデ、ドウ云フ譯デ斯様ニ骨抜キニナツタノカ、吾々ガ考ヘレバ要點デアルト思フ點ガ、非常ニ曖昧ニナツテ居ル、是ハドウ云フ經過デアルカ、政府委員ノ方カラデモ承レ、バ非常ニ結構デアルト思ヒマス、

○平野委員 ソレデハ次ニ今ノ商工大臣ノ御説明ヲ前提トシテ承リタイノハ、此前出マシタ案ト、今度出タ案ト云フモノヲ大體比較シテ見マスト、逐條的ニハ申上ダマセヌケレドモ、一言スレバ非常ニ吾々カラ見タ通リニ、肥料ノ豊富且ツ低廉ナル供給ヲナサシメヨウト云フ所ニ目標ガアルノデアリマス、只今ノ所デハ問題ニナリマシタヤル」トアリマシテ、之ヲ一寸見レバ尤モデアルガ、能ク分解シテ農民ト肥料屋ト云フコトヲ正確ニ頭ノ中ニ描イテ見マスト、コントナ旨イ譯ニハ行カナイ、是ハ吾々ハ農村ニ於テ永年ノ間、此問題ニ對シテハ隨分深刻ナル苦勞ヲ嘗メテ鬪ヒ來タ一人デアリマス、デ低廉且ツ豊富ト云フコトモアルノデアリマス、ソレデ價格ガ動モスレバ思フヤウニ安クナラヌト云フコトモアルノデアリマス、此曖昧ニナツタ理由トシテハ、他ノ方面カラ色々ノ運動ガアツテ、其爲ニ斯ウ云フヤウニ曖昧ニナツタモノカ、或ハ商工大臣御自身ノ信念トシテ、今回提案サレタモノガ正シイト云フ信念ノ上ニ、變更サレテ出サレタモノカ、大變穿ツタヤウナ質問デ悪インデスガ、ヤハリ此點ガ肥料問題ニ對スル吾々ノ考方ノ上ニ於テ、相當重點デアリマスノデ、ドウ云フ譯デ斯様ニ骨抜キニナツタノカ、吾々ガ考ヘレバ要點デアルト思フ點ガ、非常ニ曖昧ニナツテ居ル、是ハドウ云フ經過デアルカ、政府委員ノ方カラデモ承レ、バ非常ニ結構デアルト思ヒマス、

○小川國務大臣 是ハ本會議デモ一寸話モ致シマシタシ、又今モ一寸御説明モシタト如何デセウカ

○小川國務大臣 是ハ本會議デモ一寸話モ致シマシタシ、又今モ一寸御説明モシタト如何デセウカ

思フノデアリマス、六十七議會ニ提案サレ
マシタ案ニ付キマシテハ、其當時モ衆議院
ニ於テ色々御意見ガアツタノデアリマス、其
御意見ヲ尊重シテ考へ、又其後肥料ノ生産
者ノ方ナリ、或ハ消費者ノ團體ノ代表ト見
ルベキ者、ソレニ意見ヲ徵シタノデアリマ
ス、其意見ヲ參照致シマシテ、肥料ノ今日
ノ現狀ニ付キマシテ、斯ウ云フ風ニ改メタ
方ガ宜イト斯ウ考ヘマシテ、只今皆様ニ御
審議ヲ願フテ居リマス此改正案トナツタノデ
アリマス

○平野委員 是ハオ間デハアリマセヌガ、

此際私ノ所見ヲ申上ゲテ置キマスト、肥料

製造業者カラ見レバ今度改正サレテ出タ案

ガ宜イダラウト思フ、所ガ農民ノ立場カラ

見レバ前ノ案ガ宜イコトハ何人モ否定出來

ナイ所デアル、サウスレバ既ニソコデ此前

出タ案ガ斯ウ云フ風ニ修正サレテ出テ來ル

ト云フ所ニ、吾々ハ甚ダ肥料業統制ノ將來

ニ對スル憂慮スベキ點ガアルト云フコトヲ

一寸御記憶ニ留メテ戴キタイト思ヒマス、
是ハ御答辯ハ要リマセヌ

ソレカラ次ニ先程來佐竹君カラモ、或ハ

河野君カラモ聞イテ居ルノデアリマスガ、
併シ此點ハ非常ニ御答辯ガ不明確ナヤウデ

アリマス、私モドウシテモ是ハ聞イテ置キ

マシタ案ニ付キマシテハ、其當時モ衆議院
ニ於テ色々御意見ガアツタノデアリマス、其
御意見ヲ尊重シテ考へ、又其後肥料ノ生産
者ノ方ナリ、或ハ消費者ノ團體ノ代表ト見
ルベキ者、ソレニ意見ヲ徵シタノデアリマ
ス、其意見ヲ參照致シマシテ、肥料ノ今日
ノ現狀ニ付キマシテ、斯ウ云フ風ニ改メタ
方ガ宜イト斯ウ考ヘマシテ、只今皆様ニ御
審議ヲ願フテ居リマス此改正案トナツタノデ
アリマス

○小金政府委員 硫安一廻ノ生産費ハドノ

位デアルカト云フコトノ御質問デアリマス

ガ、是ハ實ハ硫安ニハ色々ナ製造方法ガア

リマシテ、各社多様ノ生産費ト稱スルモノ

ヲ發表シテ居ルノデアリマス、例ヘバ「カ

ザレー」法ニ依ルトカ、或ハ「クロード」法

トカ色々ナ方法ガアルヤウデアリマス、吾

吾ニハ不正確ナ數字ハ、之ヲ生産費ナリト

シテ發表スルコトハ實ハ致シ兼マスノデ、

此前モ甚ダ姑息デハアリマシタガ、一應當

業者ガ出サレタモノヲ、五會社ノ發表致シ

マシタモノデアリマスガ——生産費ノ點ニ

付キマシテハ、此處ニ何トモ申上兼ネル、

斯ウ云フ御答ヲスルヨリ外ゴザイマセヌ

ル

○平野委員 ソレデハ此點ハ打切りマシ

テ、ソレデハ斯ウ云フ質問ヲ致シマス、從

フ關係ニナツテ居ルカト云フコトヲ知ラズ

シテ立法シタラ、ソレコソ天下ノ笑ヒ物ト

ナル、私ハ答辯ハ求メマセヌガ、少クトモ

其點ニ付テハ甚ダ政府ノ答辯ト云フモノハ

不滿足デアルト云フコトヲ一言此際申上ゲ

ル

○平野委員 ソレデハ此點ハ打切りマシ

テ、ソレデハ斯ウ云フ質問ヲ致シマス、從

フ關係ニナツテ居ルカト云フコトヲ知ラズ

シテ立法シタラ、ソレコソ天下ノ笑ヒ物ト

ナル、私ハ答辯ハ求メマセヌガ、少クトモ

其點ニ付テハ甚ダ政府ノ答辯ト云フモノハ

不滿足デアルト云フコトヲ一言此際申上ゲ

ル

○平野委員 サウシマスト、政府ハ大體各

會社ガ發表セルモノヲ、事實ト略、信ジテ行

クト解釋シテ宜シイノデスカ

○小金政府委員 其點モハッキリ分リマセ

ヌノデスガ、果シテ之ニ信ヲ措イテ宜イカ

ドウカ、法律デモ施行致シマシタ後ニ、一

タインデスガ政府ノ現在ノ調査デハ硫安一

廻ノ生産費ハ幾ラデアルカ、簡単デアリマ

スガ、其御調ガアリマスカアリマセヌカ、

又御發表ガ出來ルカ出來ナイカ、詰リ硫安

一廻ニ對スル生産費如何ト云フ問デアリマ

ス

○小金政府委員 硫安一廻ノ生産費ハドノ

位デアルカト云フコトノ御質問デアリマス

ガ、是ハ實ハ硫安ニハ色々ナ製造方法ガア

リマシテ、各社多様ノ生産費ト稱スルモノ

ヲ發表シテ居ルノデアリマス、例ヘバ「カ

ザレー」法ニ依ルトカ、或ハ「クロード」法

トカ色々ナ方法ガアルヤウデアリマス、吾

吾ニハ不正確ナ數字ハ、之ヲ生産費ナリト

シテ發表スルコトハ實ハ致シ兼マスノデ、

此前モ甚ダ姑息デハアリマシタガ、一應當

業者ガ出サレタモノヲ、五會社ノ發表致シ

マシタモノデアリマスガ——生産費ノ點ニ

付キマシテハ、此處ニ何トモ申上兼ネル、

斯ウ云フ御答ヲスルヨリ外ゴザイマセヌ

ル

○平野委員 ソレデハ此點ハ打切りマシ

テ、ソレデハ斯ウ云フ質問ヲ致シマス、從

フ關係ニナツテ居ルカト云フコトヲ知ラズ

シテ立法シタラ、ソレコソ天下ノ笑ヒ物ト

ナル、私ハ答辯ハ求メマセヌガ、少クトモ

其點ニ付テハ甚ダ政府ノ答辯ト云フモノハ

不滿足デアルト云フコトヲ一言此際申上ゲ

ル

○平野委員 ソレデハ此點ハ打切りマシ

テ、ソレデハ斯ウ云フ質問ヲ致シマス、從

フ關係ニナツテ居ルカト云フコトヲ知ラズ

シテ立法シタラ、ソレコソ天下ノ笑ヒ物ト

ナル、私ハ答辯ハ求メマセヌガ、少クトモ

其點ニ付テハ甚ダ政府ノ答辯ト云フモノハ

不滿足デアルト云フコトヲ一言此際申上ゲ

ル

○平野委員 サウシマスト、政府ハ大體各

會社ガ發表セルモノヲ、事實ト略、信ジテ行

クト解釋シテ宜シイノデスカ

○小金政府委員 一寸答辯デハアリマセヌ

ガ、説明ヲ附加致シマス、私ガ今生産費云々

ト申シマシタノハ、是ハ實ハ硫安工業ノ如

キハ、最新式ノ化學ヲ應用致シマシタ、所

謂高壓工業トカ、實ニムヅカシイ化學工業

ノ尖端ヲ行クモノデアル、斯ウ云フヤウナ

工業デアリマシテ、之ヲウカリ生産費ナ

ドウカ、法律デモ施行致シマシタ後ニ、一

リトシテ發表セラレタモノヲ吾々ガ取上げ

ルトカ、或ハ法律ニ何等根據ガナクシテ突

込ンダ調査ヲシテ、仕損ズルヤウナコトガ

アツデハナラナイト、斯ウ云フマア心遣ヒカ

ラサウ申上ガタノデアリマス、例ヘバ農家

經濟ノヤウニ非常ニ「オープン」ナルモノ

デアリマセヌデスカラ、非常ニ祕密デ特許

其他ヲ包含シテ居リマス工業デアリマスノ

デ、此點ニ付キマシテハ彌ガ上ニモ吾々ハ

注意シタイ、此點ヲ御諒承ヲ願ヒタイト思

シモ小作立法ト云フモノヲ出サレル場合

ニ、日本ノ小作料ハ幾ラニナツテ居ルカ、日

本ノ農業ノ土地ニ付テ小作ト地主ガドウ云

フ關係ニナツテ居ルカト云フコトヲ知ラズ

シテ立法シタラ、ソレコソ天下ノ笑ヒ物ト

ナル、私ハ答辯ハ求メマセヌガ、少クトモ

其點ニ付テハ甚ダ政府ノ答辯ト云フモノハ

不滿足デアルト云フコトヲ一言此際申上ゲ

ル

○平野委員 ソレデハ此點ハ打切りマシ

テ、ソレデハ斯ウ云フ質問ヲ致シマス、從

フ關係ニナツテ居ルカト云フコトヲ知ラズ

シテ立法シタラ、ソレコソ天下ノ笑ヒ物ト

ナル、私ハ答辯ハ求メマセヌガ、少クトモ

其點ニ付テハ甚ダ政府ノ答辯ト云フモノハ

不滿足デアルト云フコトヲ一言此際申上ゲ

ル

○平野委員 ソレデハ此點ハ打切りマシ

テ、ソレデハ斯ウ云フ質問ヲ致シマス、從

フ關係ニナツテ居ルカト云フコトヲ知ラズ

シテ立法シタラ、ソレコソ天下ノ笑ヒ物ト

ナル、私ハ答辯ハ求メマセヌガ、少クトモ

其點ニ付テハ甚ダ政府ノ答辯ト云フモノハ

不滿足デアルト云フコトヲ一言此際申上ゲ

ル

○平野委員 サウシマスト、政府ハ大體各

會社ガ發表セルモノヲ、事實ト略、信ジテ行

クト解釋シテ宜シイノデスカ

○小金政府委員 其點モハッキリ分リマセ

ヌノデスガ、果シテ之ニ信ヲ措イテ宜イカ

ドウカ、法律デモ施行致シマシタ後ニ、一

リトシテ發表セラレタモノヲ吾々ガ取上げ

ルトカ、或ハ法律ニ何等根據ガナクシテ突

込ンダ調査ヲシテ、仕損ズルヤウナコトガ

アツデハナラナイト、斯ウ云フマア心遣ヒカ

ラサウ申上ガタノデアリマス、例ヘバ農家

經濟ノヤウニ非常ニ「オープン」ナルモノ

デアリマセヌデスカラ、非常ニ祕密デ特許

其他ヲ包含シテ居リマス工業デアリマスノ

デ、此點ニ付キマシテハ彌ガ上ニモ吾々ハ

注意シタイ、此點ヲ御諒承ヲ願ヒタイト思

シモ小作立法ト云フモノヲ出サレル場合

ニ、日本ノ小作料ハ幾ラニナツテ居ルカ、日

本ノ農業ノ土地ニ付テ小作ト地主ガドウ云

フ關係ニナツテ居ルカト云フコトヲ知ラズ

シテ立法シタラ、ソレコソ天下ノ笑ヒ物ト

ナル、私ハ答辯ハ求メマセヌガ、少クトモ

其點ニ付テハ甚ダ政府ノ答辯ト云フモノハ

不滿足デアルト云フコトヲ一言此際申上ゲ

ル

○平野委員 ソレデハ此點ハ打切りマシ

テ、ソレデハ斯ウ云フ質問ヲ致シマス、從

フ關係ニナツテ居ルカト云フコトヲ知ラズ

シテ立法シタラ、ソレコソ天下ノ笑ヒ物ト

ナル、私ハ答辯ハ求メマセヌガ、少クトモ

其點ニ付テハ甚ダ政府ノ答辯ト云フモノハ

不滿足デアルト云フコトヲ一言此際申上ゲ

ル

○平野委員 サウシマスト、政府ハ大體各

會社ガ發表セルモノヲ、事實ト略、信ジテ行

クト解釋シテ宜シイノデスカ

○小金政府委員 一寸答辯デハアリマセヌ

ガ、説明ヲ附加致シマス、私ガ今生産費云々

ト申シマシタノハ、是ハ實ハ硫安工業ノ如

キハ、最新式ノ化學ヲ應用致シマシタ、所

謂高壓工業トカ、實ニムヅカシイ化學工業

ノ尖端ヲ行クモノデアル、斯ウ云フヤウナ

工業デアリマシテ、之ヲウカリ生産費ナ

ドウカ、法律デモ施行致シマシタ後ニ、一

リトシテ發表セラレタモノヲ吾々ガ取上げ

ルトカ、或ハ法律ニ何等根據ガナクシテ突

込ンダ調査ヲシテ、仕損ズルヤウナコトガ

アツデハナラナイト、斯ウ云フマア心遣ヒカ

ラサウ申上ガタノデアリマス、例ヘバ農家

經濟ノヤウニ非常ニ「オープン」ナルモノ

デアリマセヌデスカラ、非常ニ祕密デ特許

其他ヲ包含シテ居リマス工業デアリマスノ

デ、此點ニ付キマシテハ彌ガ上ニモ吾々ハ

注意シタイ、此點ヲ御諒承ヲ願ヒタイト思

シモ小作立法ト云フモノヲ出サレル場合

ニ、日本ノ小作料ハ幾ラニナツテ居ルカ、日

本ノ農業ノ土地ニ付テ小作ト地主ガドウ云

フ關係ニナツテ居ルカト云フコトヲ知ラズ

シテ立法シタラ、ソレコソ天下ノ笑ヒ物ト

ナル、私ハ答辯ハ求メマセヌガ、少クトモ

其點ニ付テハ甚ダ政府ノ答辯ト云フモノハ

不滿足デアルト云フコトヲ一言此際申上ゲ

ル

○平野委員 ソレデハ此點ハ打切りマシ

テ、ソレデハ斯ウ云フ質問ヲ致シマス、從

フ關係ニナツテ居ルカト云フコトヲ知ラズ

シテ立法シタラ、ソレコソ天下ノ笑ヒ物ト

ナル、私ハ答辯ハ求メマセヌガ、少クトモ

其點ニ付テハ甚ダ政府ノ答辯ト云フモノハ

不滿足デアルト云フコトヲ一言此際申上ゲ

ル

○平野委員 サウシマスト、政府ハ大體各

會社ガ發表セルモノヲ、事實ト略、信ジテ行

クト解釋シテ宜シイノデスカ

○小金政府委員 一寸答辯デハアリマセヌ

ガ、説明ヲ附加致シマス、私ガ今生産費云々

ト申シマシタノハ、是ハ實ハ硫安工業ノ如

キハ、最新式ノ化學ヲ應用致シマシタ、所

謂高壓工業トカ、實ニムヅカシイ化學工業

ノ尖端ヲ行クモノデアル、斯ウ云フヤウナ

工業デアリマシテ、之ヲウカリ生産費ナ

ドウカ、法律デモ施行致シマシタ後ニ、一

リトシテ發表セラレタモノヲ吾々ガ取上げ

フ故ニ、硫安會社ハ從來暴利ヲ貪ッテ居タ
カドウカ、暴利ト云フ言葉ハ先刻言ッタヤ
ウニ惡ケレバ訂正シマスケレドモ、一應政
府ノ所見ト云フモノヲ聽キタイノデアリマ
ス

○田邊政府委員 只今ノ御質問デアリマス
ルガ、硫安ノ製造會社ガ、暴利、又ハ非常
ナ利益ヲ貪ッテ居タト云フ風ニハ考ヘテ居
ラヌノデアリマス

○平野委員 サウ云フ御答辯デアレバソレ
以上追究致シマセヌガ、其御答モ唯ソレダ
ケデハ満足出來ナイト云フコトヲ表明シテ
置キマス、其次ニハ商工大臣ニ特ニ御聽シ
タインデアリマスガ、滿洲化學ノ問題デア
リマス、此滿洲化學ノ點ニ付テハ河野君ガ
材料ヲ要求サレテ居リマスノデ、或ハ河野
君カラモウ少シ正確ナル御質問ガアルカト
思ヒマスガ、私モ本日質問ノ順序デアリマ
スカラ承リマスガ、林陸軍大臣ハ前々議會
ニ於キマシテ、滿洲ト云フモノハ日本ノ農
民ガ血涙ヲ流シタ滿洲デアル、斯ウ云フ見
地ニ立ッテ、少クトモ滿洲化學ト云フモノニ
對シテハ、將來相當日本ノ農民ノ肥料問題
ニ對シテハ考慮スルト云フコトヲ言明サレ
テ居ルノデアリマス、今日林陸軍大臣ハ
陸軍大臣デアリセヌノデ、其コトヲ陸軍大
臣ニ聽クト云フコトハ言質ニナリマスカラ

申上ゲマセヌガ、サウ云フ風ナ誰ガ言ッタ
彼ガ言ッタト云フヤウナコトハ第二ノ問題
トシテ、商工大臣ガ少クトモ今日此重要肥
料ニ對スル所ノ法律案ヲ提唱サレニ付テ、
此滿洲化學ト云フモノニ對シテ、特別ニ相
當ノ御研究ガアルカドウカ、滿洲化學ト云
フモノヲ中心ニシテ、日本ノ農民ニ相當安
イ肥料ヲ配給シテヤラウト云フヤウナコト
ヲ御研究ナサッテ居ルカドウカト云フコト
ト、ナサッテ居ルトスレバ、モウ少シ對滿洲
化學ト云フモノト日本ノ内地ノ農民ト云フ
モノニ付テノ、或ル程度ノ御説明ヲ願ヘレ
バ幸ト存ジマス

○小川國務大臣 本法ヲ施行セラレマシタ
後ニ於テハ、内地ノ統制方針ト協調ヲ保ッ
ヤウニシタイ積リデアリマス、其方針デ行
キマスレバ自然農民ノ爲ニモナルコトニナ
ルト思ヒマス

○平野委員 ドウモ總テ質問ニ對スル所ノ
答辯ト云フモノガ甚ダ不徹底極マルト思ヒ
マスガ、併シ特ニ理論闘爭其他ヲ繰返サン
トスルモノデアリマセヌノデ、大體此質問
ニ對シテモ次ニ移リマス、最後ニ私ハ此本
案ニ對スル一番山ト申シマスルカ、吾々ガ
云フコトヲ、納得出來ルヤウニ御説明ニナ
マス、之ニ對シテハ一つ能ク、直ぐ答辯ガ

出来ナケレバ協議ヲ願ヒタ、少クトモ明
快ナル所ノ答辯ト云フモノヲ絶対ニ要求致
シマス

○小川國務大臣 御尋ハ御尤デアリマス、
此重要肥料業委員會ハ内閣ニ設置スルト云
フコトハ河野君トノ問答デ申上ゲタ通リデ
アリマス、ソレデ委員ニハ農林、商工兩省
初メ關係官廳ノ高等官、生産及ビ消費兩方
面ノ代表者、單ニ肥料業者ダケノ代表者デ
ナク、消費者ノ方面ノ代表者竝ニ學識經驗
・アル者等ヲ以テ委員會ヲ組織スル考デアリ
マス

○平野委員 其中ノ消費者ト稱セラレル
者、一言スレバ農民、其内容ニ付テ御考ガ
アリマスカ

○小川國務大臣 消費者ノ代表者ノ内容ト
云フコトニナリマスト、ドウ云フコトヲ御
考ニナツテ御尋カ知レマセヌケレドモ、兎ニ
角消費者ノ利益ヲ代表スルニ足リル者ヲ考
ヘテ行カウトシテ居リマスノデスカラ、今
茲ニ誰ヲドウト云フヤウナ、サウ云フコト
ハ御答出來マセヌケレドモ、其氣持ヲ諒ト
シテ戴ケバ、私ハサウ突込ンデ誰ト云フコ
トマデ申上ゲヌデモ宜カラウト思フノデス
リマス、從來農林當局、並ニ一般ニ政府デ

アリマスガ、農業者ノ代表トシテ、抽象的ニ農業者ノ代表々々ト云フ場合ニ、ソレガ實際上ノ農業者ヲ代表スルヤ否ヤト云フコトニ付テ、私ハ甚ダ疑問ガアル、抽象的ニ言フナラバ、斯ウデアリマセウ、從來政友會ハ大體農民黨デアル、恐ラク政友會ノミナラズ民政黨デモサウデアリマセウガ、就中政友會ノ主要ナ方々ハ選舉ニ於テ、農村ニ於テ農民黨ト自ラ稱シテ、農民ヲ代表サレタ筈ナンデアリマス、併ナガラ是ハ昨日モ米穀對策ノ委員會ニ於テ三宅正一君ガ適切ニ説明シテ居リマシタガ、日本ノ從來ノ農業政策ノ致命的缺陷ト云フモノハ、農民ヲ代表スルト稱スル其代表者ガ、實際ニ於テ農業ニ從事スル所謂耕作者ハ少クシテ、農村ニ在住スル所ノ多くハ地主階級、農村ニ於ケル特權階級ト云フ者ガ、所謂農業代表者デアッタ云フコトハ明ナ事實デアリマス、政府當局並ニ農林當局ガ、是ハ農民ノ意見ナリトシテ發表致シマシタコトガ、現實ニ於ケル農民ノ意思ト反シタコトガ、ウナコトガ、所謂今日ニ於ケル農村ノ疲弊ヲ來シタ原因デアルト私ハ斷言シテ憚ラナイ、今日私ガ此重要肥料業委員會ニ於テ、商工大臣ニ特ニ質問竝ニ希望ヲ申上ゲルト云フノハ、今日我ガ日本ノ農村ニ於キマシ

テハ、五反歩未満ノ農民ト云フモノハ百九十萬約二百萬戸デアリマス、五反歩カラ一町歩マデノ耕作ヲシテ居リマスル農民ハ同ジク百九千二萬、約二百萬戸デアリマス、モ云フモノガ、驚ク勿レ四百萬戸ノ多數ヲ占メテ居ル、農家ノ總戸數ヲ五百五十萬戸ト致シマスルナラバ、此四百萬ノ戸數ト云フモノハ、正ニ其大半デハナイカ、所ガ農民ヲ代表スル帝國農會ト云ヒ、或ハ產業組合ト稱シ、是等ノ諸團體ハ此下層農民ヲ代表スルト云フコトニ付テハ未ダ完全デナイト信ジマス(「ノー／＼」)是ハ私ノ獨斷力モ知レマセヌガ、私ノ特ニ主張セントスル點デアリマス、日本ニ於キマシテハ此自作兼小作農以下ノ小作人階級ヲ代表致シマス所ノ農民代表ト云フ者ガアルノデアリマス、一ツハ全國農民組合、一ツハ日本農民組合デアリマス、此全國農民組合ノ組合數ハ約十萬ニ達シテ居リマス、日本農民組合ハ約五萬ニ達シテ居リマス、人數少シト雖モ所謂中農以下ヲ代表スル所ノ團體トシテ、今日我ガ日本ニ現存致シテ居ルト云フコトヲ聯シテ一言御尋ヲシテ私ノ質問ヲ打切りマス

○平野委員 私ハ只今ノ平野君ノ質問ニ關連シテ云フコトヲ最後ニ私ハ一言申上ゲマス、サウシテ私ノ質問ヲ打切りマス

○河野委員 私ハ只今ノ平野君ノ質問ニ關連シテ云フヤウニ考ラレルカモ知レマセヌガ、併シコハ考ヘテ貫ハナケレバナラヌ、詰リ私共ガ斯ウ云フ議論ヲ致シマスルト、例ヘバ政友會モ民政黨ノ人達デモ、農會デアルトカ、產業組合デアルトカ云フモノハ大體完全ナル農民ノ代表デナイ、斯ノ御認メニナラナイト云フノデアリマスアラバ、何ヲカ言ハシ、若シ御認メニナルト

云フナラバ、此肥料委員會ニ於キマシテ、ドウシテモ此肥料ヲ實際ニ使フテ居ル所ノ、而モ數ニ於テ農民ノ殆ド大半ヲ占メル是等ノ農業團體ノ間カラ代表者ヲ出サレルト云テ吾々ガ賛成セントスル所謂要諦デアリマス、此點ニ付テ商工大臣、出來ルナラバ農ス、此點ニ付テ商工大臣、出來ルナラバ農林大臣ヨリ之ニ對スル御意見茲ニ解釋ヲ承ツテ置キタイ

○小川國務大臣 只今ノ御話ハ御意見デアリ御希望デアルト承ツタノデアリマス、其御意見、御希望ハ私承ツテ置キマス、ソレヲ肥料ノ消費者ノ代表ヲ何ニ求ムベキカト云フコトハ今茲デ具體的ニ申上ゲラレマセヌ

○平野委員 私ハ今ノ商工大臣ノ御言葉ハ、言葉ノ上カラ行ケバソレヨリ或ハ申サレナイト云フヤウニ考ラレルカモ知レマセヌガ、併シコハ考ヘテ貫ハナケレバナラヌ、詰リ私共ガ斯ウ云フ議論ヲ致シマスルト、例ヘバ政友會モ民政黨ノ人達デモ、農會デアルトカ、產業組合デアルトカ云フモノハ大體完全ナル農民ノ代表デナイ、斯ノ議會ノ御答辯ト、此議會ニハ少シク行キ方ヲ御變ヘニナツテ、肥料ノ生産費ヲ此際御發表ニナツタラドウカト御忠告ヲ申上ゲタ

イト思フ(「然リ」と呼フ者アリ)今マデハ確

信ナク、何等ノ法規モナク、據ドコロガナ

カツカラ、生産費ヲ發表スルト、徒ニ政策

ニ行詰ル虞ガアツカラ發表スルト、徒ニ政策

ンデヤナイカト私ハ思フ、所ガ今回ハ多數

ノ委員諸君ガ此法案デモ不満足ナガラヤラ

シテ見タイト云フ氣持ヲ持テオ居デニナ

ルヤウデアリマス、サウ云フ際ニアリマス

カラ、先程ノ政府委員ノ御答辯ノヤウニ、

誰ガ考ヘテモ常識的ニ今ノ肥料ハ高イ、製

造業者ハ暴利ヲ貪フテ居ル、是ハ政府ノ答辯

ガドウデアラウト暴利ヲ貪フテ居ルト吾々ハ

認識セザルヲ得マセヌ、又政府ノ答辯ニ依

リマシテモ、過去ノ政府ノ答辯ハ九十三四

圓ガ適當デアルト云フコトヲ言フテ居ラレ

ルノデアリマスカラ、ソレガ百三十圓、四十

圓ト云フヤウナコトニナッテ、四五十圓ト

ナツタラ暴利ニ決ッテ居リマス、之ヲ今更吾

吾ハ議論致シマセヌガ、鬼ニ角政府ハ生産

費ガ何處ニアルカ、又將來政府ガ本法ヲ運

用セラル、ニ當リマシテ、政府ノ生産費ニ

對スル認識ガドウデアルカト云フコトハ重

大問題デアリマス、本法ヲ實施サレマシタ

カラト云ウテ、別ニ今マデノ御調ガサウ變

ルトハ私ハ思ハヌ、今マデハ調ガナカツタ、

法律ガナカツカラ調ガナカツタ仰シヤイ

マスガ、從來ノ行政ノ運用ニ依レバ決シテ

調ベラレナイコトハナイ、現ニ御調ガアル

ト私ハ思フ、殊ニ今マデノ政府ノ答辯ニ依

リマスレバ、調ガナイト云フ御答辯ハ一遍

モナイノニアリマス、唯發表ガ出來ナイト

云フ答辯ガ今マデアツ、デアリマスカラ

此機會ニ宜シク政府ハ生産費ノ今マデノ

政府ノ調ヲ御發表ニナッテ、非常ナル熱心ヲ

以テ將來斯ウ云フ風ニ安定シテ行クンダト

云フコトヲ御説明ニナツタ方ガ宜イヂヤナ

イカ、斯ウ考ヘマスノデ、是ハ今直グニ此

處デトハ申シマセヌ、能ク農林商工兩省御

協議ノ上デ、御發表ニナツタ方ガ、然ルベシト

私ハ考ヘマスノデ、特ニ政府ニ申上げテ見

タイト思フノニアリマス、尙ホ其他ニモ御

尋シテ見タイ點モアリマスケレドモ、吾々

ノ方ノ黨ニ於テハ、大體本日ハ此程度ニシ

テ戴キタイト云フ積リデアリマスカラ……

○矢野委員 只今ノ河野君ノ發言ハ私モ至

極至當デアリ、穩當デアラウト思ヒマスノ

デ、此委員會ノ氣持ヲ御酌取リニナリマシ

テ、サウシテ生産費ノ御發表ヲサレタ方ガ

宜イト思ヒマスカラ、私カラモ一言附加ヘ

テ置キマス

○西村委員長 ソレデハ本日ハ是デ散會致

シマス、明日ハ午前十時カラ開ク豫定デア

リマスガ、尙ホ的確ナコトハ公報ヲ以テ御知

ラセシマス

午前十一時二十二分散會